

岩手県立大学建築保全業務仕様書

1 適用範囲

この仕様書は、公立大学法人岩手県立大学が発注する岩手県立大学、岩手県地域連携棟及びＩＰＵゲストハウス建築設備の運転監視、点検・保守、清掃及び警備業務（以下「本業務」という。）を委託契約により履行する場合に適用する。

2 契約図書の優先順位

全ての契約図書は、相互に補完するものとする。ただし、契約図書間に相違がある場合、その優先順位は、下記によるものとする。

第１位 業務内容説明書及び質問、回答書

第２位 岩手県立大学建築保全業務仕様書（以下「仕様書」という。）

第３位 建築保全業務共通仕様書（以下「保全仕様書」という。）

平成１５年度版※（国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修）

※契約期間中に改訂版が発行された場合には当該改訂版のうち最新版に依る。

3 業務の目的

本業務は、建築設備運転保守管理、清掃、警備の３部門とし、関係諸法令並びに委託者の定めた岩手県立大学自家用電気工作物保安規程、岩手県立大学地域連携棟自家用電気工作物保安規程（以下双方をまとめて「保安規程」という。）及びその他の関係諸規則を遵守し、以下の目的達成に努め、もって岩手県立大学建築設備の安全かつ効率的な運営を実現することを目的とする。

（１）設備の性能を十分に発揮させ、施設の衛生的及び機能的環境を向上させること。

（２）無事故、無公害に努め、各種の事故を防止すること。

（３）適正な日常点検・監視の実施により、故障による機能停止を未然に防止すること。

（４）最適な業務計画を作成し、環境衛生、安全等の確保、修繕費の軽減と設備機器等の耐用年数の延伸を図ること。

（５）効率的機器運転、制御等により省エネルギーに努め、ランニングコストの節減を図ること。

（６）業務の各種データ等を集計、分析し省エネルギー等を考慮した最適運転、点検計画を作成すること。

4 業務の内容

主な業務の内容は、別に定めるもののほか、次の各号に掲げる業務とする。

（１）電気設備、空気調和設備、給排水衛生設備等（以下「各種設備」という。）の運転操作、監視及び制御、調整等に関する事。

（２）各種設備の日常点検、定期点検、法定点検及び保守に関する事。

（３）エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和５４年６月２２日法律第４９号。以下「省エネ法」という。）の規定に基づくエネルギー管理員としての業務に関する事。

（４）各種設備の運転状況の確認、計測、記録及び報告並びに調査、分析に関する事。

（５）各種設備に必要な消耗品の調達に関する事。

（６）各種設備の非常装置に関する事。

（７）施設内外の清掃等環境の保全に関する事。

（８）施設及び各種設備の防災、安全に関する事。

（９）入退室管理システムの運用、操作に関する事。

（１０）設備機器類、消耗品等の台帳の作成及び保管に関する事。

（１１）電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督並びに保安のための巡視、点検及び検査に関する事。

- (12) 岩手県立大学及び岩手県立大学地域連携棟における自家用電気工作物の電気主任技術者としての業務に関すること。
- (13) 本学の建築物環境衛生管理技術者としての業務に関すること。
- (14) 保安規程に定められた業務に関すること。
- (15) その他必要と認められる立会い、連絡調整及び報告に関すること。

5 報告及び記録

- (1) 業務内容の報告及び記録の様式を作成（別に定められているものを除く）し、これを事前に提出し監督員の承諾を受けること。
- (2) 業務内容の報告及び記録は、業務終了後速やかに提出し、監督員の承諾を受け必要な期間保存すること。
- (3) 主な報告及び記録は、下記のとおりとする。なお、記載内容については監督員と協議の上、任意の様式により必要な事項を記載するものとする。
 - ア 業務日誌
 - イ 設備点検報告書
 - ウ 作業立会報告書
 - エ 事故記録書【状況写真を添付のこと】
 - オ その他監督員が必要と認める書類

6 管理責任者

受託者は、当該業務の実施にあたり、受託者を代理する管理責任者を次の任にあたらせること。

- (1) 業務実施に関する監督員との連絡調整
- (2) 仕様書に基づく細部事項の打ち合わせ
- (3) 業務従事者の管理及び指揮監督

7 業務従事者の資格等

- (1) 建築設備運転保守管理業務の従事者は、下記に定める技術者及び資格等を有するものとする。
 - ア 電気主任技術者
 - イ 建築物環境衛生管理技術者
 - ウ 電気工事士の資格を有する者
 - エ 危険物取扱者甲種または、乙種の資格を有する者
 - オ 省エネ法の規定に基づき、第二種管理指定工場におけるエネルギー管理員として選任できる資格を保有している者（兼任可）なお、平成21年度以降は平成17年度において改正された省エネ法の規定に基づく資格を有したエネルギー管理員として選任できる資格を保有している者であること。
- (2) 業務従事者は、業務実施に必要な教育訓練等を修了した技術優秀な者とする。
- (3) 業務従事者において、総括責任者1名を選任し、監督員の承諾を得るものとする。
- (4) 業務従事者において、清掃、警備部門は、それぞれ業務責任者を各1名定め、建築設備運転保守管理部門においては、電気設備責任者1名及び機械設備責任者1名を定め、監督員へ届けるものとする。
- (5) (4) で定められた責任者は、それぞれの担当に係る業務を把握及び管理し、総括責任者を補佐するものとする。

8 業務従事者の確認等

- (1) 業務開始に先立ち、業務従事者の経歴（6ヶ月以内に撮影した写真を添付）、資格証明書等の写し（有効期限の定めがある資格については有効期限内の写しとし、契約期間内に更新した場合には、その都度提出するものとする。）及び責任体制を示す書面を提出し、監督員の承諾を受けるものとする。

- (2) 監督員が業務従事者として不適当と認めた者については、協議の上、業務従事者を交代させるものとする。
- (3) 業務従事者が転任、退職等の場合、原則として事前に監督員の承諾を受け、交代者と十分に引き継ぎを行い業務に支障のないようにするものとする。
- (4) 業務従事者は、保安規程、岩手県立大学消防計画、岩手県立大学地域連携棟及びI P Uゲストハウス消防計画等を遵守するほか、作業上危険を伴う場所については、安全施設又は安全帽等必要な措置をとるものとする。また、監督員の指示に従うものとする。

9 相互協力

施設設備運転保守従事者、清掃業務従事者、警備従事者は、互いはもちろんのこと、他の各種受託業者と連絡を密にし、大学施設管理者に必要な事項について相互に協力し、適切な管理を行うものとする。

10 その他

各業務部門ごとの詳細仕様については、別に定めるものとする。

11 疑義

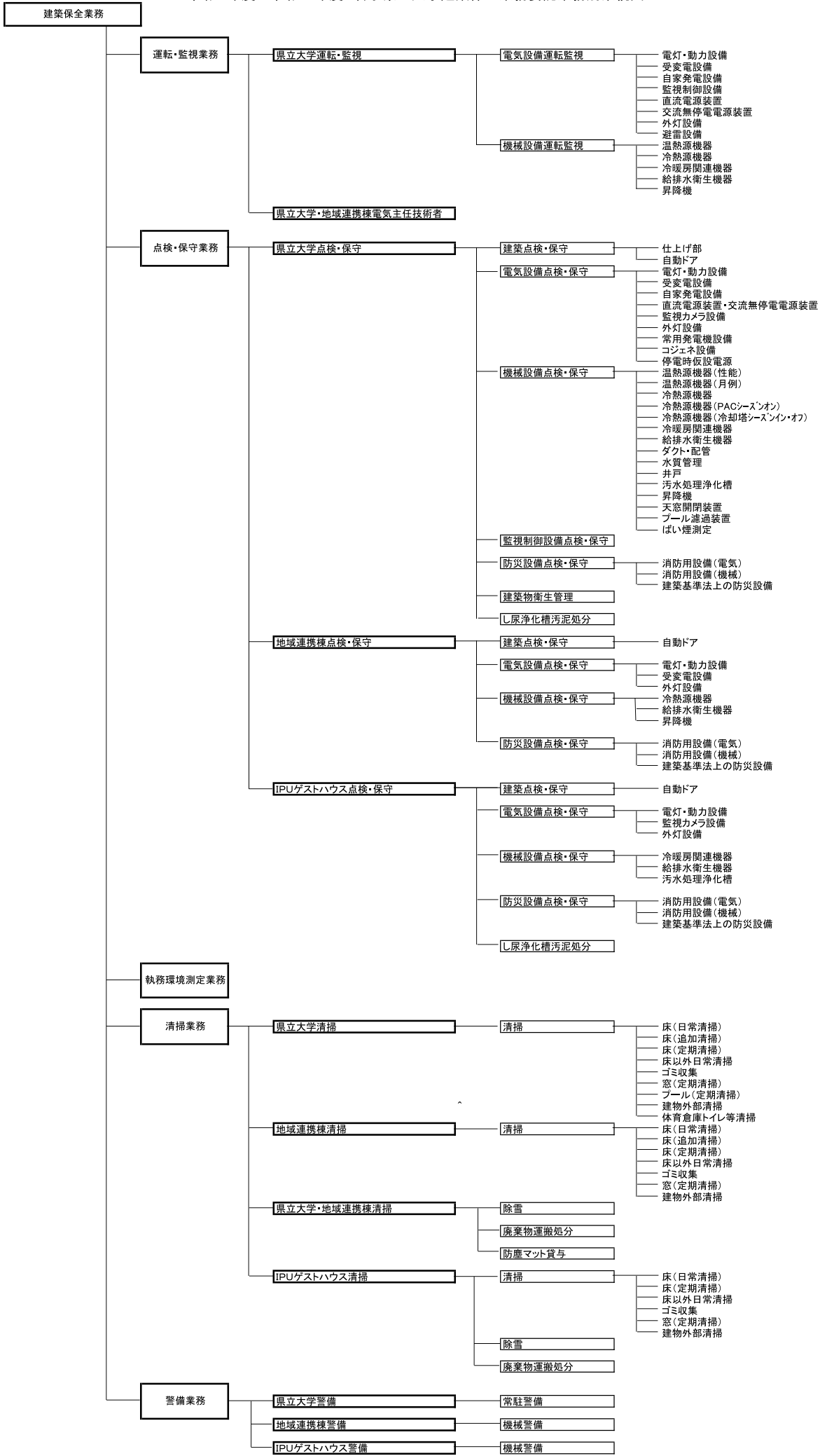
この仕様書に定めのない事項、またはこの仕様書に疑義が生じた場合には、必要に応じて監督員と協議するものとする。

12 本業務の実施に要する受託者が専ら使用する場所

本業務を実施するため、受託者が次の場所を使用することを認めるものとする。

エネルギーセンター棟内	中央監視室 (112.00 m ²)
	ロッカー室 (15.00 m ²)
	更衣室 (10.00 m ²)
	清掃員控室 (56.00 m ²)
本部棟内	守衛室 (20.40 m ²)
	守衛用仮眠室 (14.00 m ²)
屋外	守衛所 (16.32 m ²)
I P Uゲストハウス内	管理人室 (3.31 m ²)

令和5年度～令和10年度 岩手県立大学建築保全業務委託業務別系統図



建築設備保守管理業務仕様書

建築設備保守管理業務は、仕様書に定めるもののほか、この業務仕様書に定めるところにより実施するものとする。

1 勤務時間及び体制

(1) 勤務体制は、24時間体制とし常時2人以上配置する。

また、平日全日（8：30～17：30）については、別に4名以上配置する。

なお、事故並びに故障等が生じた場合は、夜間、土日祝祭日を問わず対応できる必要な人員及び体制を確保する。

(2) 点検等必要に応じ監督員の指示により、勤務時間の変更（早出、超勤）及び休日勤務に応じる。

2 業務概要

2-1 対象施設

運転・監視、点検及び保守の対象施設は、表-1のとおりである。

表-1 業務対象施設一覧

2-2 運転監視対象設備

運転・監視対象設備は、表-2及び表-3のとおりである。

表-2 電気設備運転・監視対象設備

表-3 機械設備運転・監視対象設備

2-3 保守点検対象設備

保守点検の対象設備は、表-4及び表-5のとおりである。

表-4 電気設備保守・点検対象設備

表-5 機械設備保守・点検対象設備

3 運転監視業務

3-1 共通事項

○運転監視は、保全仕様書第3編運転・監視により行うほか、以下に定める方法により行う。

(1) 運転開始前の機器、装置類に各部の支障のないことを確認する。

(2) 機器、装置類の運転操作及び制御を現場及び監視盤にて行う。

(3) 機器、装置類の運転状態を現場及び監視盤にて確認し、計測、記録する。

(4) 機器又は設備に異常が認められる場合は、直ちに適切な処置を行い、障害発生を防止するとともに、監督員にその結果を報告する。

(5) 運転終了後は、機器、装置類の異常の有無を点検し、必要な処置をする。

(6) 機器付属の取扱説明書を遵守する。

(7) 支給物品等の適正な管理を行う。

3-2 電気設備運転・監視

(1) 3-1 共通事項のほか、以下により運転・監視を行う。

ア 電力負荷の分析及びその結果を監督員に報告する。

イ 最大電力の制御を行う。

ウ 電源電圧の変動を確認し、タップ切り替えを検討し、その結果を監督員へ報告する。

エ 力率改善について検討し、その結果を監督員へ報告する。

オ 負荷率を検討し、その結果を監督員へ報告する。

カ 電力原単価を算出し、関係する事項について検討し、監督員へ報告する。

キ 商用電源と自家発電との協調をとり効率的な運転を行う。

ク その他電気についてのエネルギー管理員として必要な業務を行う。

(2) 電力会社との業務上の連絡に当たり、必要な処置をする。

3-3 機械設備運転・監視

- (1) 機器運転の最適スケジュールをたて、効率的な運転を行い、必要な調整、設定変更を行う。
- (2) エネルギーの使用に関する各種データを集計し、経済的、効率的な施設設備運転を実現する。
- (3) その他熱についてのエネルギー管理員として必要な業務を行う。

3-4 中央監視設備による運転・監視

- (1) 監視設備及び各種防災設備を監視し、必要な操作を行う。
- (2) 非常放送の操作を行う。
- (3) 各種日報の作成を行う。
- (4) 入退室管理システムの監視、連動空調操作を行い、非常時においては、警備業務受託者と連絡を密にし協力して対処する。

4 点検保守業務

4-1 共通事項

- 保守点検は、保全仕様書第1編一般共通事項、第2編点検及び保守の第3章電気設備、第4章機械設備、第5章監視制御設備及び第6章防災設備により行うほか、以下に定める方法により行う。
- (1) 設備点検及び保守実施計画書を作成し、事前に提出し、監督員の承諾を受ける。
 - (2) 運転・監視記録、点検及び保守等の保全記録を事前に十分検討する。
 - (3) 作業にあたっては、建物の床、壁、機器を損傷し、又は支障を及ぼさないよう、事前に必要な養生を行う。
 - (4) 点検及び保守の結果、異常を発見した場合及び修理を要すると認めた場合は、遅滞なく監督員に報告し、その指示を受ける。
 - (5) 業務が終了したときは、養生材、工具等を撤去、整理し、必要に応じ、建物の床、壁、機器等の清掃を行う。
 - (6) 設備の老朽、劣化、機能低下、不具合等の状態を確認し、設備の保全計画に関する資料を作成する。
 - (7) 機器付属の取扱説明書、保守仕様書等を遵守する。
 - (8) 業務を専門業者に再委託した場合、その点検には、必ず責任者が立ち会うものとする。

4-2 電気設備点検及び保守

- (1) 停電作業を行う場合は、事前に停電作業計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。
- (2) 停電支障設備の調査及びその対策を行う。
- (3) 機器等の点検及び保守業務の周期、仕様は、保全仕様書によるものとするが、表-4 中特記仕様書の定めがある設備については当該特記仕様書による。

4-3 機械設備点検及び保守

- (1) 機器等の点検及び保守業務の周期、仕様は、保全仕様書によるものとするが、表-5 特記仕様書の定めがある設備については当該特記仕様書による。
- (2) 停電時においては、停電支障設備の調査及びその対策を行う。

4-4 環境測定等

○測定ポイント数は下表により、測定位置は、監督員の指示による。

- (1) 空気環境測定及び照度測定
- (2) 水質検査
- (3) ばい煙測定

4-5 プール水の管理

- (1) 厚生省生活衛生局長通知「遊泳用プールの衛生基準について」（平成4年4月28日付衛企第45号）及び「学校環境衛生の基準」（平成4年6月23日付け文部省体育局長裁定）に基づき、管理する。なお、契約期間内に当該通知等が改正された場合には改正後

の通知による。

- (2) 水質等に異常が発見された場合は、速やかに適切な措置をとるとともに、監督員へ連絡する。

表－1 業務対象施設一覧

施 設 名	施 設 概 要			
本 部 棟	S R C 造	3 階建	延	3,217.41 m ²
共 通 講 義 棟	S R C 造	3 階建	延	8,676.95 m ²
学 生 ホ ー ル 棟	S R C 造	3 階建	延	3,798.74 m ²
体 育 棟	S R C 造	3 階建	延	5,102.21 m ²
メディアセンター A 棟	S R C 造	3 階建	延	6,447.85 m ²
メディアセンター B 棟	S R C 造	3 階建	延	2,302.47 m ²
エネルギーセンター棟	S R C 造	1 階建	延	3,450.06 m ²
総 合 政 策 学 部 棟	S R C 造	3 階建	延	8,765.23 m ²
ソフトウェア情報学部棟	S R C 造	3 階建	延	14,705.92 m ²
社 会 福 祉 学 部 棟	S R C 造	3 階建	延	8,995.45 m ²
看 護 学 部 棟	S R C 造	3 階建	延	9,856.77 m ²
短 期 大 学 部 棟	S R C 造	3 階建	延	5,526.61 m ²
ソフトウェア情報学部連絡通路	S 造	1 階建	延	101.90 m ²
守 衛 所	R C 造	3 階建	延	16.32 m ²
自 動 車 車 庫	R C 造	3 階建	延	147.96 m ²
体 育 倉 庫	R C 造	3 階建	延	281.33 m ²
バ ス 待 合 所	S 造	1 階建	延	13.50 m ²
駐 輪 場（全 1 8 棟）	S 造	1 階建	延	803.25 m ²
ダグアウト	S 造	1 階建	延	23.70 m ²
地域連携棟	S R C 造	2 階建	延	2,175.07 m ²
弓道場	W 造	1 階建	延	141.60 m ²
実験住宅	W 造	2 階建	延	28.98 m ²
I P U ゲストハウス	W 造	1 階建	延	274.39 m ²
計	84,903.06 m ²			

表－２ 電気設備運転・監視対象設備

○岩手県立大学のみ

設 備 名	主 な 設 備
１ 電力設備	<ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備 ・自家発電設備 ・構内配電線路及び各種幹線設備 ・瞬時無停電電源装置 ・電灯動力設備 ・直流電源装置 ・外部電気設備
２ 中央監視制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・中央管制装置 ・各種制御機器
３ 防災設備	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導灯、標識 ・非常照明 ・自動火災報知設備 ・防火、防排煙設備 ・非常警報設備 ・ガス漏れ警報設備
４ 防犯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラ設備 ・入退室管理システム ・非常通報設備
５ 通信情報設備	<ul style="list-style-type: none"> ・電気時計 ・テレビ共視設備 ・放送設備 ・電話設備 ・視聴覚設備
６ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台装置 ・調光設備 ・その他電気設備全般

表－３ 機械設備運転・監視対象設備

○岩手県立大学分

設備名	主な施設
１ 空気調和設備	・熱源機器及び付属機器設備 ・放熱機器設備 ・空調機器設備 ・自動制御設備
２ 換気設備	・送風機器設備
３ 衛生設備	・給水設備 ・給湯設備 ・排水設備 ・プールろ過設備
４ 昇降機設備及び自動ドア設備	・昇降機設備 ・自動ドア設備
５ その他	・その他機械設備全般

○地域連携棟分

設備名	主な施設
１ 衛生設備	・給排水設備
２ 昇降機設備及び自動ドア設備	・昇降機設備 ・自動ドア設備
３ その他	・その他機械設備全般

○ＩＰＵゲストハウス分

設備名	主な施設
１ 空気調和設備	・空調機器設備
２ 衛生設備	・給水設備 ・給湯設備 ・排水設備
３ 自動ドア設備	・自動ドア設備
３ その他	・その他機械設備全般

表－４ 電気設備保守・点検対象設備

○岩手県立大学分

受電電圧： ６，６００ Ｖ

契約電力： 東北電力（株） 業務用電力（９００ｋＷ）、自家発補給電力（５００ｋＷ）

設 備 名	主 な 設 備	設 備 概 要
１ 電力設備	・受変電設備△	電気室（１１個所） 受電設備容量（７，７００ＫＶＡ）
	・自家発電設備△ （コージェネレーションシステム）	発電電圧（６，６００Ｖ） 発電機台数（３台） 合計発電容量（１，５００ｋＷ）
	・直流電源装置	蓄電池（ＭＳＥ型 １５０ＡＨ） 台数（１台）
	・瞬時無停電電源装置 （ＵＰＳ）	容量（２００ＫＶＡ）、台数（１台） 蓄電池（ＭＳＥ型 ４００ＡＨ）
		容量（３０ＫＶＡ）、台数（１台） 蓄電池（ＭＳＥ型 ５０ＡＨ）
	・電灯動力設備	電灯盤（３１６面） 実験盤（７６面） 動力盤（２１１面） 照明機器、外灯
２ 中央監視 制御設備 ※	・中央管制装置	アズビル（株）製 Savic-NetFX（１式）
	・各種制御機器	中央管制装置接続各種設備制御機器（１式）
３ 防災設備	・自動火災報知設備	ＧＲ型受信機（１台） 副受信機（１１台） 中継器盤（１４面） 感知器類（２，５９４個） 発信器（１４９個）
	・放送設備	アンプ（８台） リモートマイク（２個） スピーカ（１，７４２個） アッテネータ（１３５４個）
４ 防犯設備 ※	・監視カメラ設備	監視カメラ装置（５２台） システムコントローラー（３台）
	・バリアフリートイレ 呼出装置	呼出装置（３８台） 呼出表示装置（１１台）

※・・・特記仕様書が定められている設備

△・・・年度により実施する点検業務量が異なるものが含まれている。詳細は①平成２９年度～平成３４年度真空遮断器（ＶＣＢ）点検計画②平成２９年度～平成３４年度常用発電機等定期点検計画 をそれぞれ参照のこと。

○地域連携棟分

受電電圧 : 6, 600 V

契約電力 : 東北電力(株) 業務用電力(最大需要電力による)【付随契約:蓄熱調整契約】

設 備 名	主 な 設 備	設 備 概 要
1 電力設備	・受変電設備	電気室(1個所) 設備容量(900KVA)
	・電灯動力設備	電灯盤(316面) 実験盤(76面) 動力盤(211面) 照明機器、外灯
2 防災設備	・自動火災報知設備	受信機(1台) 感知器類(63個) 音響設備(1式)

○IPUゲストハウス分

受電電圧 : 6, 600 V

契約電力 : 東北電力(株) 業務用電力(最大需要電力による)

設 備 名	主 な 設 備	設 備 概 要
1 電力設備	・電灯動力設備	引込開閉器盤(1面) 電灯盤(6面) 照明機器、外灯
2 防災設備	・自動火災報知設備	受信機(1台) 感知器類(26個)

表－５ 機械設備保守対象設備

○岩手県立大学分

設備名	主な施設	主な機器等
1、空気調和設備	・ 熱源機器	真空式温水ヒーター 直焚吸収式冷温水機
	・ 付属機器	冷却塔 空調用ポンプ オイルタンク ヘッダー
	・ 空調機器	エアーハンドリングユニット パッケージ型空調機
2、換気設備		
3、衛生設備	・ 給水設備	給水ポンプ 受水槽 冷水器（オアシス）
	・ 排水設備	湧水ポンプ 汚水ポンプ 汚水槽 し尿浄化槽汚泥処理
	・ 給湯設備	給湯ポンプ 電気温水器
	・ プールろ過設備	
4、水質管理		飲料水 空調用水 水泳プール水
5、昇降機		
6、天窓開閉装置		
7、自動扉		
8、防災設備	・ 消防法上の 消防用設備	消火器 屋内消火栓 屋外消火栓 新ガス消火設備 避難器具 厨房用消火設備 油ポンプ室消火設備 消火水槽
	・ 建築基準法上の 防災設備	防火ダンパー 防火シャッター 防火扉

○地域連携棟

設備名	主な施設	主な機器等
1、空気調和設備	・熱源機器 ※	氷蓄熱冷暖房設備
	・空調機器	パッケージ型空調機
2、換気設備		
3、衛生設備	・給湯設備	電気温水器
4、昇降機		
5、自動扉		
6、防災設備	・消防法上の 消防用設備	消火器
	・建築基準法上の 防災設備	防火シャッター 防火扉

○I P Uゲストハウス分

設備名	主な施設	主な機器等
1、空気調和設備	・空調機器	パッケージ型空調機
2、換気設備		
3、衛生設備	・給水設備	受水槽
	・排水設備 ※	浄化槽 し尿浄化槽汚泥処理
	・給湯設備	石油温水器
4、自動扉		
5、防災設備	・消防法上の 消防用設備	消火器

※・・・特記仕様書が定められている設備

中央監視設備保守点検業務特記仕様書

中央監視設備保守点検業務は、この特記仕様書に定めるところにより実施するものとする。

なお、この特記仕様書に示されない事項であっても、故障若しくは機能の低下を未然に防止するための維持管理上必要と認める修理、部品の交換等作業については、受託金額の範囲内で実施するものとする。

1 対象設備及び総合点検の内容

- (1) 保守点検の対象となる設備は別添機器数量表のとおりとする。
- (2) 総合点検の内容は別添総合点検仕様書のとおりとする。

2 保守点検時期

- (1) 総合点検は年1回実施するものとし、講義、大学行事等に支障のないよう監督員の指示に従い、中央監視室勤務者と調整を図りながら、適切な時期に実施するものとする。
- (2) 随時点検は必要の都度実施し、故障又は不具合が発生した場合は速やかに対応すること。

3 保守点検業務実施計画及び報告

- (1) 毎月の保守点検業務実施計画を前月の25日までに策定し、監督員へ提出すること。
- (2) 実施した保守点検業務内容は、点検終了後10日以内に保守点検業務実施計画に基づき実施した内容について任意様式により提出すること。
- (3) 点検の結果、設備に故障等が発見された場合は、速やかに報告すること。

4 消耗品及び部品の交換

点検整備に要する消耗品は、受託者の負担とし、受託金額の範囲内で実施できない部品の交換等作業については、委託者と別途協議するものとする。

5 その他

詳細については、監督員と打ち合わせするものとする。

保守点検対象機器数量表

記 号	品 名	数 量	摘 要
A. 中央管制装置			
(1) 中央監視装置 SAVIC-netFX			
SMSⅢ	システムマネジメントサーバ	2台	
DSSⅢ	データストレージサーバ	2台	
FIMⅡ	防犯インターフェイスマスタ	1台	
SICⅡ	セキュリティインターフェイスコントローラ	1台	
AGMⅢ	アナンシェータグラフィックマスタ	1台	
SCSⅡ	システムコアサーバ	29台	
PC	監視用PC	4台	
FXBMS	ビルマネジメントシステム	1台	
UPS	無停電電源装置	2台	
CLP	カラーレーザープリンタ	1台	
B. 熱源・ローカル一般機器			
(1) 熱源廻り制御			
WY7041F	パラマトリクスⅡ	3台	
WY7048	パラマトリクスⅡ	4台	
TY7803B	温度検出器	24台	
JTG	圧力発信器	3台	
R31	デジタル指示調節器	11台	
WY7217A	コンパクトエアハン用コントローラ	2台	
VDF	複座二方弁	1台	
VTF	電動三方調節弁	4台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	6台	
WTY7100B	デジタル積算熱量計	11台	
KID/KIX	電磁流量計	11台	
LY7201B	挿入形温度検出器	1台	
VY6100D	電動ボール弁	4台	
JTD	圧力発信器	1台	
R7010B	ミズコン調節器	3台	
T675A	温度調節器	2台	
V-725	感震装置	2台	
M904F	モジュトロールモータ	3台	
Q455C	弁リンケージ	3台	
V5065A	三方弁	3台	
R7702A	電子式温度調節器	1台	
VY6900D	電動式バタフライ弁	4台	
(2) 空調機制御(1)－①36SETS			
WY7211	I D Cベーシックユニット	36台	
WY7222A	S C M	36台	
HY7096A	室内形湿度発信器	36台	
VY6100D	電動ボール弁	72台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	36台	

記 号	品 名	数 量	摘 要
MY6040A	直結形ダンパ操作器	1 0 8 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	3 6 台	
TY7095A	ネオセンサー白金薄膜素子	1 8 0 台	
(3) 空調機制御(1)－②36SETS			
WY7211	I D C ベーシックユニット	3 6 台	
WY7222A	S C M	3 6 台	
HY7096A	室内形湿度発信器	3 6 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	1 4 4 台	
VY6100D	電動ボール弁	7 2 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	3 6 台	
WY7205B	I F C	1 8 0 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	3 6 台	
TY7095A	ネオセンサー白金薄膜素子	1 8 0 台	
(4) 空調機制御(2) 6 SETS			
WY7211	I D C ベーシックユニット	6 台	
WY7222A	S C M	6 台	
HY7096A	室内形湿度発信器	6 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	6 台	
VY6100D	電動ボール弁	12 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	6 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	12 台	
TY7095A	ネオセンサー白金薄膜素子	18 台	
(5) 空調機制御(3) 6 SETS			
WY7211	I D C ベーシックユニット	6 台	
WY7222A	S C M	6 台	
VY6100D	電動ボール弁	12 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	6 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	12 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	12 台	
HY7800A	挿入形湿度発信器	6 台	
(7) 空調機制御(4) 1 2 SETS			
WY7211	I D C ベーシックユニット	12 台	
WY7222A	S C M	12 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	24 台	
VY6100D	電動ボール弁	24 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	24 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	24 台	
HY7800A	挿入形湿度発信器	12 台	
TY7095A	ネオセンサー白金薄膜素子	36 台	
(8) 空調機制御(5) 2 SETS			
WY7211	I D C ベーシックユニット	2 台	
T7090D	室内形温度検出器	2 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	4 台	
PY7000C	耐食形微差圧発信器	2 台	

記 号	品 名	数 量	摘 要
TY7800B	挿入形温度検出器	2 台	
	(9) 空調機制御(6) 2 SETS		
WY7211	I D C ベーシックユニット	2 台	
VY6100D	電動ボール弁	4 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	2 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	4 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	4 台	
HY7097A	室内形湿度発信器	2 台	
	(10) 空調機制御(7) 2 SETS		
WY7211	I D C ベーシックユニット	6 台	
WY7222A	S C M	2 台	
VY6100D	電動ボール弁	2 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	1 0 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	4 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	4 台	
HY7800C	挿入型湿度発信器	2 台	
T7090D	室内形温度検出器	2 台	
	(11) 空調機制御(8) 3 SETS		
WY7211	I D C ベーシックユニット	3 台	
VY6100D	電動ボール弁	6 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	3 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	9 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	3 台	
HY7097A	室内形湿度発信器	3 台	
	(12) 空調機制御(9) 3 SETS		
WY7211	I D C ベーシックユニット	3 台	
VY6100D	電動ボール弁	6 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	3 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	3 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	6 台	
HY7097A	室内形湿度発信器	3 台	
	(13) 空調機制御(10) 2 SETS		
WY7211	I D C ベーシックユニット	2 台	
VY6100D	電動ボール弁	4 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	2 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	4 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	6 台	
HY7097A	室内形湿度発信器	2 台	
	(14) 空調機制御(12)		
WY7217	コンパクトエアハン用コントローラ	1 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	2 台	
HF50	風向計	1 台	
VY6100D	電動ボール弁	2 台	

記 号	品 名	数 量	摘 要
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	1 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	2 台	
(15) 空調機制御(13)			
WY7211	I D C ベーシックユニット	1 台	
VY6100D	電動ボール弁	2 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	1 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	1 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	2 台	
(16) 空調機制御(14)			
WY7211	I D C ベーシックユニット	1 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	3 台	
VY6100D	電動ボール弁	6 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	3 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	6 台	
HY7097A	室内形湿度発信器	1 台	
(17) 空調機・コイルユニット制御 2 SETS			
WY7211	I D C ベーシックユニット	2 台	
VY5110A	ロータリー形電動二方弁	4 台	
MY6040A	直結形ダンパ操作器	2 台	
TY7800B	挿入形温度検出器	4 台	
(21) 吹き抜けファン発停制御 16SETS			
T7090D	室内形温度検出器	16台	
R31	デジタル指示調節器	16台	
(22) 熱源機械室ファン発停制御			
WY7211	I D C ベーシックユニット	1 台	
T7090D	室内形温度検出器	1 台	
(23) 発電機室ファン発停制御			
WY7211	I D C ベーシックユニット	1 台	
T7090D	室内形温度検出器	1 台	
(24) クール・ヒートトンネルダンパ切替制御 3 SETS			
MY6040A	直結形ダンパ操作器	6 台	
(25) 計測系統			
HY7019C	挿入形温度露点発信器	1 台	
HY7800A	挿入型湿度発信器	1 台	
WSA64/WC7022	風向風速計／雨量計	1 台	
37T	雨量計	1 台	
(26) オイルタンク制御			
SL	液面調節器	2 台	
DL	油面計	6 台	
SV	重油用電磁弁	12台	

[illegible]

[illegible]

電 子 式 制 御 機 器

総合点検

機 種	保 守 項 目	備 考
1. 検出器 発信器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (3) 実測又は標準試験器による誤差点検及び校正 (4) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (5) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
2. 調節計	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 各設定の確認・調整 (比例帯・積分値・微分値・不感帯・動作隙間) (5) 実測に対する点検校正 (6) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (7) 規定値の設定 (8) 最適値の設定 (9) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
3. 調節計 (プログラマブル式)	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源電圧・各制御電圧の点検 (5) 各ファイルのデリート状態及びエラー状態の確認 (6) 軽故障・アラーム状態・システムエラー値の点検・ 確認 (7) 制御パラメータ及び制御プログラムの作動の確認 (8) 上位伝送状態の点検確認 (9) 各入出力信号（発停・警報・アナログ）に対する 調節計の作動点検 (10) 実測に対する点検校正 (11) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (12) 規定値の設定 (13) 最適値の設定 (14) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
4. 変換器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源・電圧の点検 (5) 標準試験器によるゼロ・スパン調整 (6) 各設定に対する出力信号の点検・調整 (7) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (8) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
5. 操作器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) リンケージ組付状態の確認及びストローク調整・ 回転角度の調整	

機 種	保 守 項 目	備 考
	(4) モータの回転作動・回転角度の点検 (5) ポテンシオメータ接触点の清掃及び点検 (6) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (7) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
6. 自動制御用 調節弁	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) グランド部漏れ点検 (4) バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ 点検・調整 (5) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (6) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	

デ ジ タ ル 式 制 御 機 器

総合点検

機 種	保 守 項 目	備 考
1. 温度発信器 湿温発信器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (3) 実測又は標準試験器による誤差点検及び点検校正 (4) 伝送電圧の点検 (5) コントローラとの伝送状態の点検確認 (6) 検出器又は発信器・調整器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (7) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
2. コントローラ	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源電圧・各制御電圧の点検及びバックアップ電池の 点検 (5) 各ファイルのデリート状態及びエラー状態の確認 (6) 軽故障・アラーム状態・システムエラー値の点検・確認 (7) 制御パラメータ及び制御プログラムの作動確認 (8) 上位伝送状態の点検確認 (9) 各センサー・変換器との伝送状態の点検・確認 (10) アナログデータに対する誤差試験 (11) 各入出力信号（発停・警報・アナログ）に対する 調節計の作動点検 (12) 発信器・コントローラ・変換器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (13) 規定値の設定 (14) 最適値の設定 (15) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
3. 変換器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 電源・電圧の点検 (5) 標準試験器によるゼロ・スパン調整 (6) 各設定に対する出力信号の点検・調整 (7) 伝送電圧の点検 (8) コントローラとの伝送状態の点検確認 (9) 発信器・コントローラ・変換器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (10) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
4. 操作器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) リンゲージ組付状態の確認及びストローク調整・ 回転角度の調整 (4) モータの回転作動・回転角度の点検 (5) ポテンショメータ接触点の清掃及び点検 (6) 伝送電圧の点検 (7) コントローラとの伝送状態の点検確認 (8) 発信器・コントローラ・変換器・操作部等 関連部とのループ作動点検調整 (9) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	

中央管制装置 savic-netFX

ユニット	保 守 項 目	標 準	作業
		点検周期	条件
1. SMSⅢ	(1) システム情報・設定情報の確認	1 年	A
	(2) インジケータ表示確認	6 ヶ月	A
	(3) データファイルのバックアップ作成	6 ヶ月	C
	(4) システム各種ログの保存	6 ヶ月	C
	(5) 内部温度状態の確認	6 ヶ月	A
	(6) 電源・バッテリー状態の確認	6 ヶ月	A
	(7) 給電状態の確認	1 年	C
	(8) ハードディスク状態の確認	6 ヶ月	A
	(9) Ethernet通信状態の確認	6 ヶ月	A
	(10) 各部のクリーンアップ	1 年	C
	(11) ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認	1 年	C
	(12) 外観点検	6 ヶ月	A
	(13) バッテリーの定期交換	4 年	A
2. DSSⅢ	(1) システム情報・設定情報の確認	1 年	A
	(2) インジケータ表示確認	6 ヶ月	A
	(3) データファイルのバックアップ作成	6 ヶ月	C
	(4) システム各種ログの保存	6 ヶ月	C
	(5) 内部温度状態の確認	6 ヶ月	A
	(6) 電源・バッテリー状態の確認	6 ヶ月	A
	(7) 給電状態の確認	1 年	C
	(8) ハードディスク状態の確認	6 ヶ月	A
	(9) Ethernet通信状態の確認	6 ヶ月	A
	(10) 各部のクリーンアップ	1 年	C
	(11) ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認	1 年	C
	(12) 外観点検	6 ヶ月	A
	(13) バッテリーの定期交換	4 年	A
3. SCSⅡ	(1) システム情報・設定情報の確認	1 年	A
	(2) インジケータ表示確認	6 ヶ月	A
	(3) データファイルのバックアップ作成	6 ヶ月	C
	(4) システム各種ログの保存	6 ヶ月	A
	(5) 内部温度状態の確認	6 ヶ月	A
	(6) 電源・バッテリー状態の確認	6 ヶ月	A
	(7) 給電状態の確認	1 年	C
	(8) Ethernet通信状態の確認	6 ヶ月	A
	(9) NC-bus通信状態の確認	6 ヶ月	A
	(10) 各部のクリーンアップ	1 年	C
	(11) ケーブル、コネクタ類の装着状態の確認	1 年	C
	(12) 外観点検	6 ヶ月	A
	(13) バッテリーの定期交換	4 年	A

※ 監視用PCおよびプリンタは非常要請のみです。

防犯インターフェイスマスタ F I M II

ユニット	保 守 項 目	標 準	作業
		点検周期	条件
F I M II	(1) システム設定の確認	6 ヶ月	A
	(2) 自己診断プログラムによる確認	6 ヶ月	A
	(3) メモリバックアップの確認		
	①バックアップバッテリー外観点検	6 ヶ月	A
	②バックアップ電圧の確認	1 年	C
	③バックアップ機能の確認	1 年	C
	④バックアップバッテリー定期交換	3 年	C
	(4) 受電電圧の確認	1 年	C
	(5) インジケータ表示の確認	6 ヶ月	A
	(6) ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	6 ヶ月	C
	(7) 各部のクリーンアップ	1 年	C

セキュリティインターフェースコントローラ S I C II

保 守 項 目	標 準	作業
	点検周期	条件
(1) データファイルのバックアップ作成	3 ヶ月	A
(2) メモリバックアップ機能の確認		
①動作確認	1 年	C
②バックアップバッテリー放電電圧測定	1 年	C
③バックアップバッテリー外観点検	3 ヶ月	A
④バックアップバッテリー定期交換	4 年	C
(3) 電源断検出レベルの測定、調整	1 年	C
(4) 電源電圧、リップルの測定、調整	1 年	C
(5) 各部のクリーンアップ	1 年	C
(6) インジケータの確認	3 ヶ月	A
(7) ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	3 ヶ月	C
(8) 各端子の締付確認	1 年	C
(9) システム情報の確認	3 ヶ月	A

ANN／GDRマスタ AGMⅢ

保 守 項 目	標 準	作業
	点検周期	条件
(1) トラブル解析用ファイルの保存	6 ヶ月	A
(2) メモリバックアップ機能の確認		
①動作確認	1 年	C
②バックアップバッテリー放電電圧測定	1 年	C
③バックアップバッテリー外観点検	6 ヶ月	A
④バックアップバッテリー定期交換	4 年	A
(3) 電源断検出レベルの測定、調整	1 年	C
(4) 電源電圧、リップルの測定、調整	1 年	C
(5) 各部のクリーンアップ	1 年	C
(6) インジケータの確認	6 ヶ月	A
(7) ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	6 ヶ月	C
(8) システム情報の確認	6 ヶ月	A

ビルマネージメントシステム F X B M S

ユニット	保 守 項 目	標 準	作業
		点検周期	条件
1. BMS 本体	(1) データファイルのバックアップ作成	6ヶ月	A
	(2) 自動シャットダウン機能の確認	1 年	C
	(3) 各部のクリーンアップ	1 年	C
	(4) 自己診断プログラムによるハードウェア診断	1 年	C
	(5) ハードディスクドライブ/フロッピーディスクドライブ/光磁気ディスクドライブの機能確認	6ヶ月	A
	(6) フロッピーディスクドライブ/光磁気ディスクドライブのヘッドクリーニング	6ヶ月	A
	(7) インジケータ表示確認	6ヶ月	A
	(8) ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	6ヶ月	C
	(9) 冷却ファンの動作確認	6ヶ月	A
	(10) ハードウェア構成の確認	6ヶ月	A
2. BMS 分電ユニット (PDU)	(1) 受電電圧の測定	1 年	C
	(2) 電源、接地端子等の締付確認	1 年	C
	(3) 各部のクリーンアップ	1 年	C
	(4) サージアブソーバの交換	2 年	C
	(5) 受電インジケータの確認	6ヶ月	A
	(6) ケーブル、コネクタ類の装着状態確認	6ヶ月	C
3. 無停電電源装置 (UPS)	(1) バックアップ動作の確認	1 年	C
	(2) 電源断検出レベルの確認	1 年	C
	(3) UPS出力電圧測定	1 年	C
	(4) UPS外観点検	1 年	C
4. システム機能	(1) チェックプログラムによる診断	6ヶ月	A
	(2) システムのイベントログの確認、保存	6ヶ月	A
	(3) データベース動作状態の確認	6ヶ月	A
	(4) エラーログの保存	6ヶ月	A
5. キーボード /マウス	(1) 動作点検		
	①キーボード	6ヶ月	A
	②マウス	6ヶ月	A
6. CRT	(2) 各部のクリーンアップ	6ヶ月	B
	(1) 消磁	6ヶ月	A
	(2) 設定要素の確認		
	①色ズレ、色ムラの確認	6ヶ月	A
	②フォーカス確認	6ヶ月	A
	③コントラスト、画面サイズ、表示位置の確認、調整	6ヶ月	A
	(3) 外観のクリーンアップ	1 年	B

無停電電源装置 U P S

保 守 項 目	点検周期	作業
		条件
(1) 外観点検	6 ヶ月	A
(2) 表示灯の点灯状態確認	6 ヶ月	A
(3) 設置環境の確認	6 ヶ月	A
(4) 実負荷時の動作確認	1 年	A
(5) ファンの動作確認及び交換	1 年	B
(6) バッテリの異常の有無確認及び交換	1 年	B

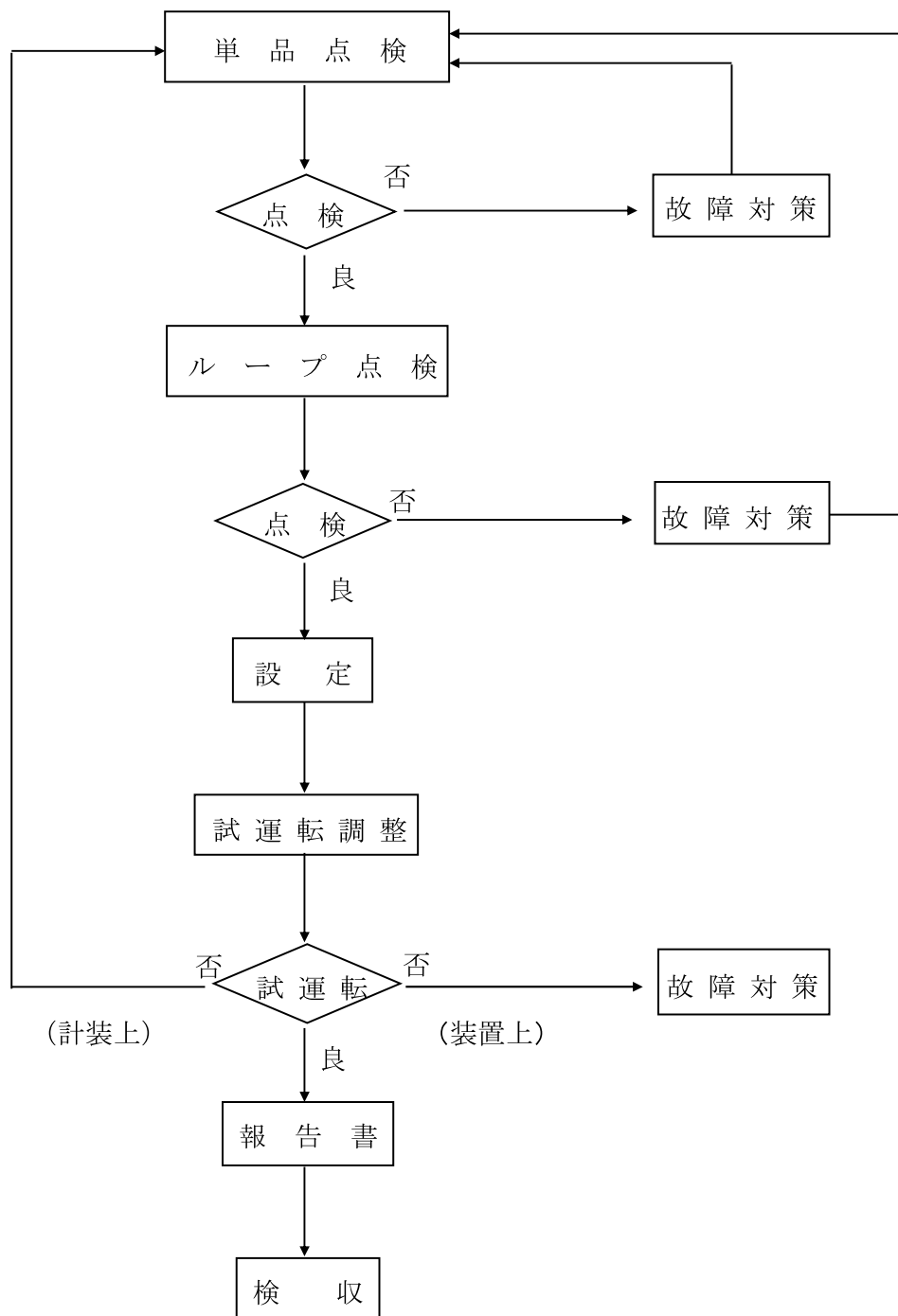
電 気 式 制 御 機 器

総合点検

機 種	保 守 項 目	備 考
1. 温度調節器 湿度調節器 圧力調節器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) 配線端子のゆるみ点検及び増締 (4) 内部機械的可動部分の動作確認 (5) 比例帯又はディファレンシャルの調整 (6) 実測に対する点検校正 (7) 調節器と操作部等関連部とのループ作動点検調整 (8) 規定値の設定 (9) 最適値の設定 (10) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
2. 操作器	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) リンゲージ組付状態の確認及びストローク調整・回転角度の調整 (4) モータの回転作動・回転角度の点検 (5) ポテンショメータ接触点の清掃及び点検 (6) バランシングリレー作動点検 (7) 調節器と操作部等関連部とのループ作動点検調整 (8) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	
3. 自動制御用 調節弁	(1) 外観目視点検及び取付状態の確認 (2) じんあいの除去 (3) グランド部漏れ点検 (4) バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ点検・調整 (5) 検出器又は発信器・調整器・操作部等関連部とのループ作動点検調整 (6) 実制御に於ける制御状態での点検・確認・調整	

総 合 点 検

※ 総合点検フローは、下記手順に従って実施



D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

●良好 ×:不良 L:補給 A:調整 C:交換 R修理完 /:該当なし

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

●良好 ×:不良 L:補給 A:調整 C:交換 R修理完 /:該当なし

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

●良好 ×:不良 L:補給 A:調整 C:交換 R修理完 /:該当なし

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

●良好 ×:不良 L:補給 A:調整 C:交換 R修理完 /:該当なし

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

●良好 ×:不良 L:補給 A:調整 C:交換 R:修理完 /:該当なし

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

[illegible]

D点検: 5,000時間毎
E点検: 10,000時間毎
D点検: 20,000時間毎

●良好 ×:不良 L:補給 A:調整 C:交換 R修理完 /:該当なし

[illegible]

機 関 運 転 検 査 ・ 試 験 基 準 及 び 記 録

[illegible]

防犯設備保守点検業務特記仕様書

防犯設備保守点検業務は、この特記仕様書に定めるところにより実施するものとする。

なお、この特記仕様書に示されない事項であっても、故障若しくは機能の低下を未然に防止するための維持管理上必要と認める修理、部品の交換等作業については、受託金額の範囲内で実施するものとする。

1 実施時期

- (1) 定期点検 周期は原則として下表に示すとおりとする。なお、土日祝日を除く平日に実施するものとし、事前に監督員と日程調整をするものとする。
- (2) 緊急保守 障害発生の都度、早急に対応するものとする。

点検周期項目別一覧表		
監視カメラ装置	監視カメラ本体	2年1回
	電動ズームレンズ	
	ハウジング（屋内・屋外）	1年1回
	システムコントローラー	
	マトリックススイッチャー	
	液晶モニター	2年1回
	デジタルディスクレコーダー	1年1回
バリアフリースイレ等 呼出装置	トイレ呼出表示器	1年1回
	廊下灯	
	押しボタン	
	復帰ボタン	
	ブザーユニット	

2 定期保守点検業務

別添「監視カメラ設備保守業務点検項目一覧表」及び「バリアフリースイレ等呼出表示器保守業務点検項目一覧表」により実施するものとする。

3 点検報告書等の提出

監視カメラ設備については、別添定期保守点検表によるものとし、その他の定期点検及び故障、不具合による修理等については、任意様式により報告書等を作成し提出するものとする。

4 消耗品及び部品の交換

点検設備に要する部品単価が 30,000 円以下の消耗品は受託者の負担とし、故障修理において部品交換を要するもので部品単価が 30,000 円を超えるものについては、委託者と協議するものとする。

監視カメラ設備保守業務点検項目一覧表

点 検 項 目		点 検 内 容
1	外 観 点 検	1 塗装の変色、ハゲ、汚れの有無を点検 2 機器の変形、歪み、破損の有無を点検 3 表示(文字、記号の印刷など)及び銘板等の消滅脱落の有無の点検
2	機 器 清 掃	1 各機器、盤、コンセント類の清掃、整理整頓 2 接続コード小物類の整理整頓
3	デジタルディスクレコーダー WJ-HD 3 5 0	1 ディスク使用時間の確認 2 録画期間の確認 3 バージョン情報 4 ファンモーターの回転動作 5 操作ボタン動作確認 6 録画・再生動作 7 時刻修正 8 障害情報確認 9 設定内容確認
4	コンビ ネ ー シ ョ ン カ メ ラ	1 カメラ映像点検 2 カメラ動作点検(プリセット、センサー) 3 カメラ機能点検(電子シャッター、電子ズーム) 4 レンズ動作点検(ズーム、フォーカス、オートフォーカス、アイリス) 5 マニュアル／オートによる回転台動作点検(水平、垂直)
5	マトリックススイッチャー	1 本体、各ボードの接続状態の点検 2 カメラ映像点検 3 カメラ制御点検(プリセット、センサー) 4 カメラ制御点検(電子シャッター、電子ズーム) 5 レンズ制御点検(ズーム、フォーカス、オートフォーカス、アイリス) 6 マニュアル／オートによる回転台制御点検(水平、垂直)
6	シ ス テ ム コ ン ト ロ ー ラ ー	1 カメラ制御点検(プリセット、センサー) 2 カメラ制御点検(電子シャッター、電子ズーム) 3 レンズ制御点検(ズーム、フォーカス、オートフォーカス、アイリス) 4 マニュアル／オートによる回転台制御点検(水平、垂直) 5 カメラ切替制御点検(カメラ1～カメラ39) 6 モニター切替制御点検(モニター1、モニター2) 7 シーケンス制御、動作点検(プログラム、ツアー) 8 その他の制御点検
7	シーケンシャルスイッチャー	1 映像出力点検 2 切替時間調整点検 3 シーケンスモード点検 4 ボリューム、スイッチ点検
8	液 晶 モ ニ タ ー	1 映像点検(濃さ、色あい、明るさ) 2 つまみ、スイッチ点検
9	総 合 動 作	1 電源制御部動作確認 2 システム総合動作確認、調整

コンビネーションカメラ基本動作点検表 (WV-CS650ほか)

カメラNo.	設 置 場 所	製造No.	パン動作 (ライト、レフト)	チルト動作 (アップ、ダウン)	ズーム動作 (望遠、広角)	フォーカス動作 (遠、近)	映 像	外観・清掃
1	本部棟1階正面玄関	7ZB05264						
2	本部棟1階守衛室側出入口	7YB05384						
3	共通講義棟1階	7ZB05268						
4	共通講義棟1階回廊側	7ZB05267						
5	総合政策学部棟1階	7YB00013						
6	総合政策学部棟1階回廊側	7YB05378						
7	盛岡短期大学部棟1階回廊側	7ZB05276						
8	盛岡短期大学部棟1階	7ZB05261						
9	看護学部棟1階回廊側	7ZB05278						
10	看護学部棟1階	82B04239						
11	共通講義棟2階回廊側	7ZB05277						
12	総合政策学部棟2階回廊側	7YB05379						
13	ソフトウェア情報学部A棟2階	7ZB05274						
14	ソフトウェア情報学部A棟2階回廊側	7YB05383						
15	盛岡短期大学部棟2階回廊側	7YB00011						
16	看護学部棟2階回廊側	81B06299						
17	社会福祉学部棟2階回廊側	7ZB05270						
18	社会福祉学部棟2階	7ZB05275						
19	ソフトウェア情報学部B棟2階	7ZB05273						
20	ソフトウェア情報学部B棟2階回廊側	7YB00009						
21	メディアセンターA棟2階回廊側	7ZB05266						
22	体育棟2階出入口(事務室側)	7YB05390						
23	体育棟プール	7QB00052						
24	体育棟2階出入口	7ZB05269						
25	共通講義棟3階回廊側	7YB05369						
26	総合政策学部棟3階回廊側	7ZB05280						
27	ソフトウェア情報学部A棟3階回廊側	7YB00007						
28	ソフトウェア情報学部B棟3階回廊側	7YB05368						
29	盛岡短期大学部棟3階回廊側	7ZB05279						
30	看護学部棟3階回廊側	7ZB05271						

○：動作良好 △：不良、調整後動作良好、別紙参照 ×：不良、部品交換後良好、別紙参照

コンビネーションカメラ基本動作点検表 (WV-CS650ほか)

カメラNo.	設 置 場 所	製造No.	パン動作 (ライト、レフト)	チルト動作 (アップ、ダウン)	ズーム動作 (望遠、広角)	フォーカス動作 (遠、近)	映 像	外観・清掃
31	社会福祉学部棟3階回廊側	7ZB05263						
32	メディアセンターA棟3階図書館	7YB05371						
33	体育棟3階アリーナ北側	7YB05377						
34	体育棟3階アリーナ南側	7ZB05265						
35	ソフトウェア情報学部A棟4階回廊側	7YB00006						
36	ソフトウェア情報学部B棟4階回廊側	7YB05370						
37	社会福祉学部棟4階回廊側	7ZB05272						
38	共通講義棟講堂							
39	外 部 (WV-CP454)							
40	学生ホール棟2階廊下(食堂入口)							
41	学生ホール棟3階廊下(食堂入口)							
42	本部棟1階(掲示板付近)							
43	盛岡短期大学部棟1階ロビー							
44	メディアセンターA棟3階図書館入口							
45	メディアセンターB棟2階							
46	メディアセンターB棟3階							
47	体育棟2階下足							
48	体育棟3階下足							
49	共通講義棟A-D間3階廊下							
50	本部棟3階(WV-CF25)	82B02268						
51	(PS:VW-PS11B、MTV:TR-7LW3)							
52	メディアセンターA棟2階AVホール	VW-CS400 81B0511						

○：動作良好 △：不良、調整後動作良好、別紙参照 ×：不良、部品交換後良好、別紙参照

コンビネーションカメラプリセット動作点検表 (WV-CS650ほか)

カメラNo.	設 置 場 所	プリセットNo.								備 考
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	本部棟1階正面玄関									
2	本部棟1階守衛室側出入口									
3	共通講義棟1階									
4	共通講義棟1階回廊側									
5	総合政策学部棟1階									
6	総合政策学部棟1階回廊側									
7	盛岡短期大学部棟1階回廊側									
8	盛岡短期大学部棟1階									
9	看護学部棟1階回廊側									
10	看護学部棟1階									
11	共通講義棟2階回廊側									
12	総合政策学部棟2階回廊側									
13	ソフトウェア情報学部A棟2階									
14	ソフトウェア情報学部A棟2階回廊側									
15	盛岡短期大学部棟2階回廊側									
16	看護学部棟2階回廊側									
17	社会福祉学部棟2階回廊側									
18	社会福祉学部棟2階									
19	ソフトウェア情報学部B棟2階									
20	ソフトウェア情報学部B棟2階回廊側									
21	メディアセンターA棟2階回廊側									
22	体育棟2階出入口(事務室側)									
23	体育棟プール									
24	体育棟2階出入口									
25	共通講義棟3階回廊側									
26	総合政策学部棟3階回廊側									
27	ソフトウェア情報学部A棟3階回廊側									
28	ソフトウェア情報学部B棟3階回廊側									
29	盛岡短期大学部棟3階回廊側									
30	看護学部棟3階回廊側									

○：動作良好 △：不良、調整後動作良好、別紙参照 ×：不良、部品交換後良好、別紙参照

コンビネーションカメラプリセット動作点検表 (WV-CS650ほか)

[illegible]

○：動作良好 △：不良、調整後動作良好、別紙参照 ×：不良、部品交換後良好、別紙参照

コンビネーションカメラアラーム動作確認 (WV－CS650ほか)

接点番号	カメラNo.	設置場所	プリセットNo.	アラーム動作	備考
1	1	本部棟1階正面玄関	1		
2	3	共通講義棟1階	1		
3	3	共通講義棟1階	2		
4	4	共通講義棟1階回廊側	1		
5	4	共通講義棟1階回廊側	2		
6	4	共通講義棟1階回廊側	3		
7	5	総合政策学部棟1階	1		
8	5	総合政策学部棟1階	2		
9	6	総合政策学部棟1階回廊側	1		
10	6	総合政策学部棟1階回廊側	2		
11	6	総合政策学部棟1階回廊側	3		
12	7	盛岡短期大学部棟1階回廊側	1		
13	7	盛岡短期大学部棟1階回廊側	2		
14	7	盛岡短期大学部棟1階回廊側	3		
15	8	盛岡短期大学部棟1階	1		
16	8	盛岡短期大学部棟1階	2		
17	9	看護学部棟1階回廊側	1		
18	9	看護学部棟1階回廊側	2		
19	10	看護学部棟1階	1		
20	10	看護学部棟1階	2		
21	11	共通講義棟2階回廊側	1		
22	12	総合政策学部棟2階回廊側	1		
23	13	ソフトウェア情報学部A棟2階	1		
24	13	ソフトウェア情報学部A棟2階	2		
25	14	ソフトウェア情報学部A棟2階回廊側	1		
26	14	ソフトウェア情報学部A棟2階回廊側	2		
27	15	短期大学部棟2階回廊側	1		
28	16	看護学部棟2階回廊側	1		
29	17	社会福祉学部棟2階回廊側	1		
30	17	社会福祉学部棟2階回廊側	2		

○：動作良好 △：不良、調整後動作良好、別紙参照 ×：不良、部品交換後良好、別紙参照

コンビネーションカメラアラーム動作確認 (WV-CS650ほか)

接点番号	カメラNo.	設置場所	プリセットNo.	アラーム動作	備考
31	17	社会福祉学部棟2階回廊側	3		
32	18	社会福祉学部棟2階	1		
33	18	社会福祉学部棟2階	2		
34	19	ソフトウェア情報学部B棟2階	1		
35	19	ソフトウェア情報学部B棟2階	2		
36	20	ソフトウェア情報学部B棟2階回廊側	1		
37	20	ソフトウェア情報学部B棟2階回廊側	2		
38	20	ソフトウェア情報学部B棟2階回廊側	3		
39	21	メディアセンターA棟2階回廊側	1		
40	21	メディアセンターA棟2階回廊側	2		
41	22	体育棟2階出入口(事務室側)	1		
42	24	体育棟2階出入口	1		
43	25	共通講義棟3階回廊側	1		
44	26	総合政策学部棟3階回廊側	1		
45	27	ソフトウェア情報学部A棟3階回廊側	1		
46	28	ソフトウェア情報学部B棟3階回廊側	1		
47	29	盛岡短期大学部棟3階回廊側	1		
48	30	看護学部棟3階回廊側	1		
49	31	社会福祉学部棟3階回廊側	1		
50	32	メディアセンターA棟3階図書館	1		
51	32	メディアセンターA棟3階図書館	2		
52	35	ソフトウェア情報学部A棟4階回廊側	1		
53	36	ソフトウェア情報学部B棟4階回廊側	1		
54	37	社会福祉学部棟4階回廊側	1		
55					
56					
57					
58					
59					
60					

○：動作良好 △：不良、調整後動作良好、別紙参照 ×：不良、部品交換後良好、別紙参照

[illegible]

名 称		岩手県立大学				住 所		岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52									
立 会 者						実 施 者											
納 入 年 月 日						実 施 年 月 日		平成 年 月 日		担当者							
		点 検 項 目		点 検		処 置		備考				点 検		処 置		備考	
				良 否		調整 修理						良 否		調整 修理			
動作機	マトリクスビデオチェンジャー	WJ-SX650							動作機								
		外 観															
		電源・各SW															
		電源回路															
		CPUボード															
		コントロールボード															
		アラームボード															
		ビデオ出力ボード															
		ビデオ入力ボードx5枚															
		清 掃															
Hシステムコントローラ	システムコントローラ	WV-CU650							Hシステムコントローラ								
		外 観															
		電源・各SW															
		電源回路															
		データ集積回路															
		リレー															
		ジョイスティック															
		ズームフォーカス回路															
		カーソル回路															
		LCD回路															
電源制御ユニット	電源制御ユニット	WU-L61Ax4台							電源制御ユニット								
		外 観															
		電源・各SW															
		電源回路															
		制御回路															
		清 掃															

ハードディスクレコーダー点検項目																	
型番	WJ-HD350 ①		製造番号	FCA00711	録画期間	約 日間											
① ディスク使用時間確認					③ バージョン情報	ソフトウェア											
<table><tr><td></td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>MAIN</td><td>GB</td><td>GB</td></tr><tr><td></td><td>H</td><td>H</td></tr></table> <p>※30000時間経過で警告</p>						1	2	MAIN	GB	GB		H	H	ハードウェア(M)			
						1	2										
					MAIN	GB	GB										
	H	H															
ハードウェア(V)																	
② 録画期間の確認					④ ファンモーターの回転動作	<input type="checkbox"/>											
<table><tr><td></td><td>1(開始)</td><td>1(最終)</td><td>2(開始)</td><td>2(最終)</td></tr><tr><td>MAIN</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)	MAIN					⑤ 操作ボタンの動作	<input type="checkbox"/>	
						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)								
					MAIN												
⑥ 録画・再生動作	<input type="checkbox"/>																
					⑦ 時刻修正	<input type="checkbox"/> 補正											
					⑧ 障害情報確認	<input type="checkbox"/>											
					⑨ 設定内容確認	<input type="checkbox"/>											

型番	WJ-HD350 ②		製造番号	FCA00683	録画期間	約 13日間											
① ディスク使用時間確認					③ バージョン情報	ソフトウェア											
<table><tr><td></td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>MAIN</td><td>GB</td><td>GB</td></tr><tr><td></td><td>H</td><td>H</td></tr></table> <p>※30000時間経過で警告</p>						1	2	MAIN	GB	GB		H	H	ハードウェア(M)			
						1	2										
					MAIN	GB	GB										
	H	H															
ハードウェア(V)																	
② 録画期間の確認					④ ファンモーターの回転動作	<input type="checkbox"/>											
<table><tr><td></td><td>1(開始)</td><td>1(最終)</td><td>2(開始)</td><td>2(最終)</td></tr><tr><td>MAIN</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)	MAIN					⑤ 操作ボタンの動作	<input type="checkbox"/>	
						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)								
					MAIN												
⑥ 録画・再生動作	<input type="checkbox"/>																
					⑦ 時刻修正	<input type="checkbox"/> 補正											
					⑧ 障害情報確認	<input type="checkbox"/>											
					⑨ 設定内容確認	<input type="checkbox"/>											

型番	WJ-HD350 ③		製造番号	FBA00973	録画期間	約 12日間											
① ディスク使用時間確認					③ バージョン情報	ソフトウェア											
<table><tr><td></td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>MAIN</td><td>GB</td><td>GB</td></tr><tr><td></td><td>H</td><td>H</td></tr></table> <p>※30000時間経過で警告</p>						1	2	MAIN	GB	GB		H	H	ハードウェア(M)			
						1	2										
					MAIN	GB	GB										
	H	H															
ハードウェア(V)																	
② 録画期間の確認					④ ファンモーターの回転動作	<input type="checkbox"/>											
<table><tr><td></td><td>1(開始)</td><td>1(最終)</td><td>2(開始)</td><td>2(最終)</td></tr><tr><td>MAIN</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)	MAIN					⑤ 操作ボタンの動作	<input type="checkbox"/>	
						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)								
					MAIN												
⑥ 録画・再生動作	<input type="checkbox"/>																
					⑦ 時刻修正	<input type="checkbox"/> 補正											
					⑧ 障害情報確認	<input type="checkbox"/>											
					⑨ 設定内容確認	<input type="checkbox"/>											

型番	WJ-HD616		製造番号	NJD00020	録画期間	約 19日間											
① ディスク使用時間確認					③ バージョン情報	ソフトウェア											
<table><tr><td></td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>MAIN</td><td>GB</td><td>GB</td></tr><tr><td></td><td>H</td><td>H</td></tr></table> <p>※30000時間経過で警告</p>						1	2	MAIN	GB	GB		H	H	ハードウェア(M)			
						1	2										
					MAIN	GB	GB										
	H	H															
ハードウェア(V)																	
② 録画期間の確認					④ ファンモーターの回転動作	<input type="checkbox"/>											
<table><tr><td></td><td>1(開始)</td><td>1(最終)</td><td>2(開始)</td><td>2(最終)</td></tr><tr><td>MAIN</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)	MAIN					⑤ 操作ボタンの動作	<input type="checkbox"/>	
						1(開始)	1(最終)	2(開始)	2(最終)								
					MAIN												
⑥ 録画・再生動作	<input type="checkbox"/>																
					⑦ 時刻修正	<input type="checkbox"/> 補正											
					⑧ 障害情報確認	<input type="checkbox"/>											
					⑨ 設定内容確認	<input type="checkbox"/>											

バリアフリースイレ等呼出表示器保守業務点検項目一覧表

点 検 項 目		点 検 内 容
1	外 観 点 検	1 塗装の変色、ハゲ、汚れの有無を点検 2 機器の変形、歪み、破損の有無を点検 3 表示(文字、記号の印刷など)及び銘板等の消滅脱落の有無の点検
2	機 器 清 掃	1 各機器、盤、コンセント類の清掃、整理整頓 2 接続コード等小物類の整理整頓
3	呼出表示器(親機、副親機)	1 呼出時状態確認、点検 (1)ブザーの鳴動 (2)呼出回線ランプ点灯 (3)ブザー鳴動、ランプ点灯リセット 2 「ランプテスト」ボタン確認、点検
4	押 し ボ タ ン	1 ボタン作動確認、点検 2 呼出動作確認、点検
5	廊 下 灯	1 点検動作確認、点検 2 ランプ確認
6	復 帰 ボ タ ン	1 ボタン作動確認、点検 2 呼出動作確認、点検
7	ブ ザ ー ユ ニ ッ ト	1 ブザー鳴動確認
8	総 合 動 作	1 システム総合動作確認、調整

バリアフリースイレ等呼出設備等設置箇所

1	本 部 棟	1Fバリアフリースイレ
2	共 通 講 義 棟	1F、2F、3Fバリアフリースイレ
3	看 護 学 部 棟	1F、2F、3Fバリアフリースイレ
4	社 会 福 祉 学 部 棟	2F、3F、4Fバリアフリースイレ
5	ソフトウェア情報学部A棟	2F、3F、4Fバリアフリースイレ
6	ソフトウェア情報学部B棟	2F、3F、4Fバリアフリースイレ
7	総 合 政 策 学 部 棟	1F、2F、3Fバリアフリースイレ
8	盛 岡 短 期 大 学 部 棟	1F、2F、3Fバリアフリースイレ
9	共 通 棟 E	4Fピアノ練習室各室
10	メディアセンター A 棟	3F、4Fバリアフリースイレ
11	メディアセンター B 棟	2F、3Fバリアフリースイレ
12	学 生 ホ ー ル 棟	2F、3Fバリアフリースイレ
13	体 育 棟	2Fバリアフリースイレ
14	屋 外 体 育 倉 庫	バリアフリースイレ

バリアフリーストレイル呼出器保守点検報告書

親機(防災センター)

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	本部棟1F						
2	共通講義棟1F						
3	メディアセンターA棟3F						
4	メディアセンターB棟2F						
5	社会福祉学部棟2F						
6	学生ホール棟2F						
7	共通講義棟2F						
8	メディアセンターA棟4F						
9	メディアセンターB棟3F						
10	社会福祉学部棟3F						
11	学生ホール棟3F						
12	共通講義棟3F						
13							
14	体育棟2F						
15	社会福祉学部棟4F						
16							
17							
18							
19							
20	社会福祉学部棟ピアノ実習室						
21	ソフトウェア情報学部A棟2F						
22	ソフトウェア情報学部B棟2F						
23	総合政策学部棟1F						
24	看護学部棟1F						
25	盛岡短期大学部棟1F						
26	ソフトウェア情報学部A棟3F						
27	ソフトウェア情報学部B棟3F						
28	総合政策学部棟2F						
29	看護学部棟2F						
30	盛岡短期大学部棟2F						
31	ソフトウェア情報学部A棟4F						
32	ソフトウェア情報学部B棟4F						
33	総合政策学部棟3F						
34	看護学部棟3F						
35	盛岡短期大学部棟3F						
36							
37							
38							
39							
40	体育倉庫						

○:正常 ×:修理、調整後良好

バリアフリートイレ呼出器保守点検報告書

副親機

設置場所: 本部棟2F事務所

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	本部棟1F						
2	共通講義棟1F						
3	共通講義棟2F						
4	共通講義棟3F						

○: 正常 ×: 修理、調整後良好

設置場所: メディアセンターA棟3F図書館事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	メディアセンターA棟3F						
2	メディアセンターA棟4F						
3	メディアセンターB棟2F						
4	メディアセンターB棟3F						

○: 正常 ×: 修理、調整後良好

設置場所: 社会福祉学部棟3F事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	社会福祉学部棟2F						
2	社会福祉学部棟3F						
3	社会福祉学部棟4F						
4	社会福祉学部棟ピアノ実習室						

○: 正常 ×: 修理、調整後良好

設置場所: 学生ホール棟2F売店事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	学生ホール棟2F						
2	学生ホール棟3F						

○: 正常 ×: 修理、調整後良好

設置場所: 体育棟2F事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	体育棟2F						

○: 正常 ×: 修理、調整後良好

バリアフリートイレ呼出器保守点検報告書

副親機

設置場所:ソフトウェア情報学部棟3F事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	ソフトウェア情報学部A棟2F						
2	ソフトウェア情報学部A棟3F						
3	ソフトウェア情報学部A棟4F						
4	ソフトウェア情報学部B棟2F						
5	ソフトウェア情報学部B棟3F						
6	ソフトウェア情報学部B棟4F						

○:正常 ×:修理、調整後良好

設置場所:総合政策学部棟2F事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	総合政策学部棟2F						
2	総合政策学部棟3F						
3	総合政策学部棟4F						

○:正常 ×:修理、調整後良好

設置場所:看護学部棟2F事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	看護学部棟2F						
2	看護学部棟3F						
3	看護学部棟4F						

○:正常 ×:修理、調整後良好

設置場所:短期大学部棟2F事務室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	短期大学部棟2F						
2	短期大学部棟3F						
3	短期大学部棟4F						

○:正常 ×:修理、調整後良好

設置場所:体育倉庫変電室

回路No.	設定場所	ランプ点灯	ブザー鳴動	復帰動作	全復帰動作	外観	清掃
1	体育倉庫障害者トイレ						
2	体育倉庫女子トイレ						

○:正常 ×:修理、調整後良好

バリアフリースイレ呼出器保守点検報告書

子 機

設定場所	台数	ランプ点灯	ブザー鳴動	押しボタン	廊下灯	復帰ボタン	外観	清掃
本部棟1F	1							
共通講義棟1F	1							
メディアセンターA棟3F	1							
メディアセンターB棟2F	1							
社会福祉学部棟2F	1							
学生ホール棟2F	1							
共通講義棟2F	1							
メディアセンターA棟4F	1							
メディアセンターB棟3F	1							
社会福祉学部棟3F	1							
学生ホール棟3F	1							
共通講義棟3F	1							
体育棟2F	1							
社会福祉学部棟4F	1							
社会福祉学部棟ピアノ実習室	8							
ソフトウェア情報学部A棟2F	1							
ソフトウェア情報学部B棟2F	1							
総合政策学部棟1F	1							
看護学部棟1F	1							
盛岡短期大学部棟1F	1							
ソフトウェア情報学部A棟3F	1							
ソフトウェア情報学部B棟3F	1							
総合政策学部棟2F	1							
看護学部棟2F	1							
盛岡短期大学部棟2F	1							
ソフトウェア情報学部A棟4F	1							
ソフトウェア情報学部B棟4F	1							
総合政策学部棟3F	1							
看護学部棟3F	1							
盛岡短期大学部棟3F	1							
体育倉庫障害者トイレ	1							
体育倉庫	1							

○:正常

×:修理、調整後良好

氷蓄熱冷暖房設備保守点検業務特記仕様書

氷蓄熱冷暖房設備保守点検業務は、この特記仕様書に定めるところにより実施するものとする。

なお、この特記仕様書に示されない事項であっても、故障若しくは機能の低下を未然に防止するための維持管理上必要と認める修理、部品の交換等作業については、受託金額の範囲内で実施するものとする。

1 対象設備

別記特記仕様書明細書のとおりとする。

2 保守点検の方法

氷蓄熱冷暖房設備の運転機能を維持するため、計画的に保守点検に必要な関係法令等に準拠した適切な点検とプログラムによる整備を行うものとする。

(1) 保守点検は、冷房開始時、暖房開始時の年間2回実施する。

(2) 点検結果は、点検業務完了の都度、任意様式による点検表に記載し甲に提出すること。

別記

氷蓄熱冷暖房設備保守点検業務特記仕様書明細書

氷蓄熱冷暖房設備保守点検業務の内容及び数量は、次のとおりとする。

《設備の項目、名称》

項目	名 称 ・ 仕 様	数量	単位
1 氷蓄熱冷暖房設備	(1) 氷蓄熱ヒートポンプエアコン屋外機		
	a 屋外機 (ICP1)	1	式
	(内訳)・屋外ユニット RXGY450K	1	台
	・熱交換器ユニット RXE5K	1	台
	・氷蓄熱ユニット TSGP560K	1	台
	(蓄熱利用冷却能力 45.0kW 最大蓄熱利用暖房能力 35.5kW)		
	b 屋外機 (ICP2、3、4)	3	式
	(内訳)・屋外ユニット RXGY355K	3	台
	・熱交換器ユニット RXE5K	3	台
	・氷蓄熱ユニット TSGP355K	3	台
	(蓄熱利用冷却能力 35.5kW 最大蓄熱利用暖房能力 28.0kW)		
	【内容】 冷暖房切替等点検・調整 (2回)	4	台
	(2) 氷蓄熱ヒートポンプエアコン屋内機		
	a 屋内機 FXYMP112KC (ICP1-1-1、1-1-2、1-3、3-2、4-2)	5	台
	冷房能力 11.2kW 暖房能力 12.5kW		
	b 屋内機 FXYCP71KC (ICP1-2)	1	台
	冷房能力 7.1kW 暖房能力 12.5kW		
	c 屋内機 FXYCP140KC (ICP2-1)	1	台
	冷房能力 14.0kW 暖房能力 16.0kW		
	d 屋内機 FXYCP80KC (ICP2-2-1、2-2-2、4-3)	3	台
	冷房能力 8.0kW 暖房能力 9.0kW		
	e 屋内機 FXYMP56KC (ICP3-1-1、3-1-2、4-1、4-4)	4	台
	冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW		
	【内容】 点検・調整 (フィルタ清掃を含む) (2回)	14	台

岩手県立大学自家用電気工作物保安規程

第1章 総 則

(目的)

第1条 岩手県立大学（以下「当事業場」という。）における電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安を確保するため、電気事業法第42条第1項の規程に基づきこの規程を定める。

(法令及び規程等の遵守)

第2条 当事業場の電気工作物設置者（以下「設置者」という。）及び職員並びに公立大学法人岩手県立大学（以下「法人」という。）が設備管理業務を委託した者（以下「管理会社」という。）の従事者は、電気関係法令及びこの規程を遵守するものとする。

(細則の制定)

第3条 この規程を実施するため必要と認める場合には、別に細則を制定するものとする。

(規程の改正等)

第4条 この規程の改正又は前条に定める細則の制定又は改正に当たっては電気主任技術者の参画のもとに立案し、これを決定するものとする。

第2章 保安業務の管理運営体制

(保安業務の管理組織)

第5条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安業務組織は別表第1のとおりとする。

2 電気工作物の工事、維持及び運用に関する業務は、事務局長が総括管理（以下「総括管理者」という。）するものとする。

(設備の管理契約)

第6条 当事業場の電気工作物の工事、維持及び運用における保安に関する業務の実施は、法人と管理会社との間の契約によるものとする。

2 前項の契約には、次の各号について定めておくものとする。

- 一 管理する対象物件に関すること。
- 二 設備の総合管理契約に関すること。
- 三 契約の有効期限に関すること。
- 四 電気主任技術者の選任に関すること。
- 五 電気主任技術者の職務に関すること。
- 六 電気主任技術者の執務に関すること。
- 七 電気工作物の保安のための巡視点検及び検査に関すること。
- 八 設置者と管理会社との連絡、報告及び調整に関すること。
- 九 その他電気工作物の保安に関し必要なこと。

(設置者及び総括管理者の業務)

第7条 当事業場の設置者及び総括管理者は、電気工作物に係る保安上重要な事項を決定又は実施しようとするときは、電気主任技術者及び管理会社の意見を求めるものとする。

- 2 当事業名の設置者及び総括管理者は、電気主任技術者の電気工作物に係る保安に関する意見を尊重するものとする。
- 3 当事業場の設置者及び総括管理者は、所管官庁に提出する書類の内容が電気工作物の保安に関係ある場合には、電気主任技術者の参画のもとに立案し、管理会社の意見を求めて、決定するものとする。
- 4 当事業場の設置者及び総括管理者は、所管官庁が法令に基づいて行う検査には、電気主任技術者を立ち合わせるものとする。

(電気主任技術者の義務)

第8条 電気主任技術者は、総括管理者を補佐し、法令及びこの規程を遵守するとともに電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実かつ適確に行わなければならない。

(電気主任技術者の職務)

第9条 電気主任技術者の電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務は、次の各号について行うものとする。

- 一 電気工作物に係る保安教育に関すること。
- 二 電気工作物の工事に関すること。
- 三 電気工作物の保守に関すること。
- 四 電気工作物の運転操作に関すること。
- 五 電気工作物の災害対策に関すること。
- 六 保安業務の記録に関すること。
- 七 保安用器材及び書類の整備に関すること。

(電気主任技術者の執務等)

第10条 電気主任技術者は当事業場に常駐勤務し、前条の職務を行うものとする。

(従事者の義務)

第11条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者は、電気主任技術者がその保安のためにする指示に従わなければならない。

(電気主任技術者不在時の措置)

第12条 電気主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在となる場合には、その業務の代行を行う者（以下「代務者」という。）を、管理会社と協議のうえあらかじめ指名しておくものとする。

- 2 代務者は、電気主任技術者の不在時には、電気主任技術者に指示された職務を誠実に行わなければならない。

第3章 保安教育

(保安教育)

第13条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対する電気工作物の保安に関する必要な知識及び技能の教育は、電気主任技術者及び管理会社の意見を求めて計画的に行うものとする。

- 2 電気主任技術者は、前項の保安教育について助言又は意見具申するものとする。

3 第1項の保安教育は、原則として、次の各号によるものとする。

- 一 電気工作物の工事、維持又は運用に関する知識及び技能の習得に関する事項
- 二 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対し、電気工作物の保安に関する基本的心構え等保安思想の徹底に関する事項
- 三 事故及び非常災害時の措置に関する事項
- 四 その他電気工作物の保安に関する必要な事項

(保安に関する訓練)

第14条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対し、災害その他の事故の防止及び応急措置等について実施訓練を行うものとする。

2 電気主任技術者は、前項の保安に関する訓練について助言又は意見具申するものとする。

3 第1項の保安に関する訓練を行うにあたっては、あらかじめ管理会社と協議するものとする。

第4章 工事の計画及び実施

(工事の計画)

第15条 電気工作物の設置、改造等の工事計画を立案するにあたっては、電気主任技術者及び管理会社の意見を求めるものとする。

2 電気主任技術者は、電気工作物の安全な運用を確保するため、総括管理者に対して主要な修繕工事及び改良工事等の必要な措置について承認を求めなければならない。

(工事の実施)

第16条 電気工作物に関する工事の実施にあたっては、必要に応じ作業責任者を選任し、電気主任技術者の保安の監督のもとにこれを施工するものとする。

2 電気工作物に関する工事を他の者に請負わせる場合には、常に責任の所在を明確にし、完成した場合には電気主任技術者においてこれを検査し、保安上支障のないことを確認して引取るものとする。

3 電気工作物に関する工事の実施にあたっては、その保安を確保するために別に定める細則によって行わなければならない。

4 前項の細則には、次の各号を定めておくものとする。

- 一 停電範囲、停電時間及び作業機材等の準備状況の確認
- 二 作業時間及び危険区域の表示
- 三 停電中のしゃ断器、開閉器の誤操作の防止措置
- 四 作業責任者の指名とその責任
- 五 作業終了時の点検及び測定
- 六 その他必要な事項

第5章 保 守

(巡視、点検及び測定)

第17条 電気工作物の保安を確保するための巡視、点検及び測定は別表第3に定める基準により行わなければならない。

2 電気主任技術者は、別表第3に定める基準により、電気工作物の保守業務の指導監督を行うものとする。

第18条 巡視、点検又は測定の結果、法令に定める技術基準に適合しない事項が判明したときは、電気主任技術者の意見に基づき当該電気工作物を修理し、改造し、移転し、若しくはその使用を一時停止し又は制限する等の措置を講じ常に技術基準に適合するように維持するものとする。

(事故再発防止)

第19条 事故その他異常が発生した場合には、電気主任技術者の意見に基づき必要に応じ、臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、再発防止に遺漏れないよう措置するものとする。

第6章 運転又は操作

(運転又は操作等)

第20条 電気工作物の運転又は操作の基準は、別に定める細則によるものとする。

2 前項の細則は、次の各号について定めるものとする。

- 一 平常時及び事故その他の異常時における電気工作物の運転又は操作を要する機器の操作順序及び運転方法並びに指令系統及び連絡系統
- 二 電気工作物の軽微な事故を修理し又は使用停止し、若しくは使用制限する等の応急処置並びに報告又は連絡事項
- 三 東北電力株式会社との連絡事項
- 四 緊急時に連絡すべき事項、連絡先及び連絡方法の掲示

第7章 長期間の停止

第21条 発電設備を長期間にわたり停止する場合には、主要機器の点検手入れを行うことともに防錆防湿等必要な対策を講ずるものとする。

(運転の開始)

第22条 発電設備を長期間停止の後、運転を開始する場合は、所定の点検を行うほか必要に応じ試運転を行い、保安の確保に万全を期するものとする。

第8章 災害対策

(防災体制)

第23条 台風、洪水、地震、火災、その他の非常災害にそなえて、電気工作物に関する保安を確保するために、防災思想を職員及び管理会社の従業員に徹底し、応急資材を備蓄するとともに、災害発生時の措置に関する当事業場内の体制をあらかじめ整備し、並びに関係機関との協力体制及び連絡体制を整備しておくものとする。

第24条 電気主任技術者は、非常災害発生時において電気工作物に関する保安を確保するための指揮監督を行う。

2 電気主任技術者は、災害等の発生に伴い危険と認められるときは、直ちに当該範囲の送電を停止することができるものとする。

第9章 記 録

第25条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する記録は次の各号について記録し、これを必要な期間保存するものとする。また、記録内容について、別に細則で定めるものとする。

- 一 新設、増設工事完成図面
- 二 同上工事に関する記録
- 三 補修工事記録
- 四 巡視、点検及び測定記録
- 五 運転日誌
- 六 公害に関する測定の記録
- 七 電気事故の記録

2 主要電気機器の補修記録は細則に定める設備台帳により記録し、必要な期間保存するものとする。

第10章 責任の分界

(責任の分界点)

第26条 東北電力株式会社の設置する電気工作物との保安上の責任分界点及び財産上の分界点は需給契約書に定めるとおりとする。

(当事業場の構内)

第27条 当事業場の構内は別図のとおりとする。

第11章 整備その他

(危険の表示)

第28条 発電所、受電室その他高圧電気工作物が設置されている場所であって、危険の恐れのあるところには、電気主任技術者及び管理会社に意見を求め、人の注意を喚起するよう表示を設けなければならない。

(測定器具類の整備)

第29条 電気工作物の保安上必要とする測定器具類は、電気主任技術者及び管理会社に意見を求めて常に整備し、これを適正に保管しなければならない。

(設計図等の整備)

第30条 電気工作物に関する設計図、仕様書、取扱い説明書等については必要な期間整備、保存するものとする。

(手続き書類等の整備)

第31条 関係官庁、電気事業者等に提出した書類及び図面その他主要文書については、その写しを必要な期間保存しなければならない。

付 則

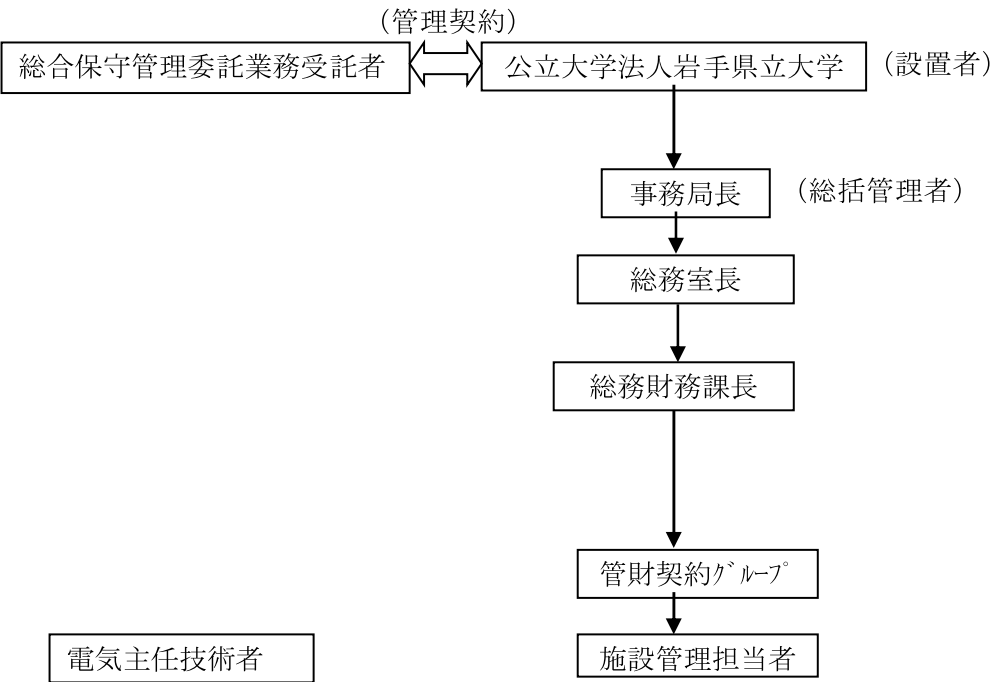
1 この規程は、平成10年4月1日から施行する。

改正付則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

別表第 1

組織系統図及び指揮命令系統図



(別 紙 1)

保安規程により記録を整備するものは次のとおりとする。

1. 巡視記録簿

巡視対象工作物ごとに、巡視の種類、実施年月日、巡視結果、巡視結果にもとづき行った措置、巡視を行った者の氏名を記録する。

2. 点検測定記録簿

点検、測定種類、対象電気工作物、実施年月日、点検結果、測定結果、点検測定の結果にもとづいて行った措置、点検測定、実施代表者名を記録する。

3. 電気事故の記録簿

停電事故

停電発生日時、継続時間、停電区域、停電事由を記録する。

重大事故

電気関係報告規則にもとづく事故報告の速報、詳報の控え

機器損壊事故

事故発生日時、損壊機器名、復旧日時、復旧状況、原因を記録する。

4. 補修工事記録簿

整備の修繕工事、改良工事、増設工事、廃止工事につき、計画の概要、実施期日、工事施工者、受入試験結果等を記録する。

(別 紙 2)

主要電気機器設備台帳作成要領は次のとおりとする。

1. 対象機器

受電用の開閉器、遮断器、高圧変圧器、高圧コンデンサ、発電機高圧使用機器

2. 記載事項

機器の定格

製造者名

製造年月日

製造番号

移動履歴

補修記録

岩手県立大学地域連携棟 自家用電気工作物保安規程

第1章 総 則

（目的）

第1条 岩手県立大学地域連携棟（以下「当事業場」という。）における電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安を確保するため、電気事業法第42条第1項の規程に基づきこの規程を定める。

（法令及び規程等の遵守）

第2条 当事業場の電気工作物設置者（以下「設置者」という。）及び職員並びに公立大学法人岩手県立大学（以下「法人」という。）が設備管理業務を委託した者（以下「管理会社」という。）の従事者は、電気関係法令及びこの規程を遵守するものとする。

（細則の制定）

第3条 この規程を実施するため必要と認める場合には、別に細則を制定するものとする。

（規程の改正等）

第4条 この規程の改正又は前条に定める細則の制定又は改正に当たっては電気主任技術者の参画のもとに立案し、これを決定するものとする。

第2章 保安業務の管理運営体制

（保安業務の管理組織）

第5条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安業務組織は別表第1のとおりとする。

2 電気工作物の工事、維持及び運用に関する業務は、事務局長が総括管理（以下「総括管理者」という。）するものとする。

（設備の管理契約）

第6条 当事業場の電気工作物の工事、維持及び運用における保安に関する業務の実施は、法人と管理会社との間の契約によるものとする。

2 前項の契約には、次の各号について定めておくものとする。

- 一 管理する対象物件に関すること。
- 二 設備の総合管理契約に関すること。
- 三 契約の有効期限に関すること。
- 四 電気主任技術者の選任に関すること。
- 五 電気主任技術者の職務に関すること。
- 六 電気主任技術者の執務に関すること。
- 七 電気工作物の保安のための巡視点検及び検査に関すること。
- 八 設置者と管理会社との連絡、報告及び調整に関すること。
- 九 その他電気工作物の保安に関し必要なこと。

(設置者及び総括管理者の業務)

第7条 当事業場の設置者及び総括管理者は、電気工作物に係る保安上重要な事項を決定又は実施しようとするときは、電気主任技術者及び管理会社の意見を求めるものとする。

2 当事業名の設置者及び総括管理者は、電気主任技術者の電気工作物に係る保安に関する意見を尊重するものとする。

3 当事業場の設置者及び総括管理者は、所管官庁に提出する書類の内容が電気工作物の保安に関係ある場合には、電気主任技術者の参画のもとに立案し、管理会社の意見を求めて、決定するものとする。

4 当事業場の設置者及び総括管理者は、所管官庁が法令に基づいて行う検査には、電気主任技術者を立ち合わせるものとする。

(電気主任技術者の義務)

第8条 電気主任技術者は、総括管理者を補佐し、法令及びこの規程を遵守するとともに電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実かつ適確に行わなければならない。

(電気主任技術者の職務)

第9条 電気主任技術者の電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務は、次の各号について行うものとする。

- 一 電気工作物に係る保安教育に関すること。
- 二 電気工作物の工事に関すること。
- 三 電気工作物の保守に関すること。
- 四 電気工作物の運転操作に関すること。
- 五 電気工作物の災害対策に関すること。
- 六 保安業務の記録に関すること。
- 七 保安用器材及び書類の整備に関すること。

(電気主任技術者の執務等)

第10条 電気主任技術者は当事業場に常駐勤務し、前条の職務を行うものとする。

(従事者の義務)

第11条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者は、電気主任技術者がその保安のためにする指示に従わなければならない。

(電気主任技術者不在時の措置)

第12条 電気主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在となる場合には、その業務の代行を行う者（以下「代務者」という。）を、管理会社と協議のうえあらかじめ指名しておくものとする。

2 代務者は、電気主任技術者の不在時には、電気主任技術者に指示された職務を誠実に行わなければならない。

第3章 保安教育

(保安教育)

第13条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対する電気工作物の保安に関する必

要な知識及び技能の教育は、電気主任技術者及び管理会社の意見を求めて計画的に行うものとする。

- 2 電気主任技術者は、前項の保安教育について助言又は意見具申するものとする。
- 3 第1項の保安教育は、原則として、次の各号によるものとする。
 - 一 電気工作物の工事、維持又は運用に関する知識及び技能の習得に関する事項
 - 二 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対し、電気工作物の保安に関する基本的心構え等保安思想の徹底に関する事項
 - 三 事故及び非常災害時の措置に関する事項
 - 四 その他電気工作物の保安に関する必要な事項

(保安に関する訓練)

第14条 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対し、災害その他の事故の防止及び応急措置等について実施訓練を行うものとする。

- 2 電気主任技術者は、前項の保安に関する訓練について助言又は意見具申するものとする。
- 3 第1項の保安に関する訓練を行うにあたっては、あらかじめ管理会社と協議するものとする。

第4章 工事の計画及び実施

(工事の計画)

第15条 電気工作物の設置、改造等の工事計画を立案するにあたっては、電気主任技術者及び管理会社の意見を求めるものとする。

- 2 電気主任技術者は、電気工作物の安全な運用を確保するため、総括管理者に対して主要な修繕工事及び改良工事等の必要な措置について承認を求めなければならない。

(工事の実施)

第16条 電気工作物に関する工事の実施にあたっては、必要に応じ作業責任者を選任し、電気主任技術者の保安の監督のもとにこれを施工するものとする。

- 2 電気工作物に関する工事を他の者に請負わせる場合には、常に責任の所在を明確にし、完成した場合には電気主任技術者においてこれを検査し、保安上支障のないことを確認して引取るものとする。
- 3 電気工作物に関する工事の実施にあたっては、その保安を確保するために別に定める細則によって行わなければならない。
- 4 前項の細則には、次の各号を定めておくものとする。
 - 一 停電範囲、停電時間及び作業機材等の準備状況の確認
 - 二 作業時間及び危険区域の表示
 - 三 停電中のしゃ断器、開閉器の誤操作の防止措置
 - 四 作業責任者の指名とその責任
 - 五 作業終了時の点検及び測定
 - 六 その他必要な事項

第5章 保 守

(巡視、点検及び測定)

第17条 電気工作物の保安を確保するための巡視、点検及び測定は別表第3に定める基準によ

り行わなければならない。

- 2 電気主任技術者は、別表第3に定める基準により、電気工作物の保守業務の指導監督を行うものとする。

第18条 巡視、点検又は測定の結果、法令に定める技術基準に適合しない事項が判明したときは、電気主任技術者の意見に基づき当該電気工作物を修理し、改造し、移転し、若しくはその使用を一時停止し又は制限する等の措置を講じ常に技術基準に適合するように維持するものとする。

(事故再発防止)

第19条 事故その他異常が発生した場合には、電気主任技術者の意見に基づき必要に応じ、臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、再発防止に遺漏れないよう措置するものとする。

第6章 運転又は操作

(運転又は操作等)

第20条 電気工作物の運転又は操作の基準は、別に定める細則によるものとする。

- 2 前項の細則は、次の各号について定めるものとする。

- 一 平常時及び事故その他の異常時における電気工作物の運転又は操作を要する機器の操作順序及び運転方法並びに指令系統及び連絡系統
- 二 電気工作物の軽微な事故を修理し又は使用停止し、若しくは使用制限する等の応急処置並びに報告又は連絡事項
- 三 東北電力株式会社との連絡事項
- 四 緊急時に連絡すべき事項、連絡先及び連絡方法の掲示

第7章 長期間の停止

第21条 発電設備を長期間にわたり停止する場合には、主要機器の点検手入れを行うことともに防錆防湿等必要な対策を講ずるものとする。

(運転の開始)

第22条 発電設備を長期間停止の後、運転を開始する場合は、所定の点検を行うほか必要に応じ試運転を行い、保安の確保に万全を期するものとする。

第8章 災害対策

(防災体制)

第23条 台風、洪水、地震、火災、その他の非常災害にそなえて、電気工作物に関する保安を確保するために、防災思想を職員及び管理会社の従業員に徹底し、応急資材を備蓄するとともに、災害発生時の措置に関する当事業場内の体制をあらかじめ整備し、並びに関係機関との協力体制及び連絡体制を整備しておくものとする。

第24条 電気主任技術者は、非常災害発生時において電気工作物に関する保安を確保するための指揮監督を行う。

- 2 電気主任技術者は、災害等の発生に伴い危険と認められるときは、直ちに当該範囲の送電を停止することができるものとする。

第9章 記 録

第25条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する記録は次の各号について記録し、これを必要な期間保存するものとする。また、記録内容について、別に細則で定めるものとする。

- 一 新設、増設工事完成図面
- 二 同上工事に関する記録
- 三 補修工事記録
- 四 巡視、点検及び測定記録
- 五 運転日誌
- 六 公害に関する測定の記録
- 七 電気事故の記録

2 主要電気機器の補修記録は細則に定める設備台帳により記録し、必要な期間保存するものとする。

第10章 責任の分界

(責任の分界点)

第26条 東北電力株式会社の設置する電気工作物との保安上の責任分界点及び財産上の分界点は需給契約書に定めるとおりとする。

(当事業場の構内)

第27条 当事業場の構内は別図のとおりとする。

第11章 整備その他

(危険の表示)

第28条 発電所、受電室その他高圧電気工作物が設置されている場所であって、危険の恐れのあるところには、電気主任技術者及び管理会社に意見を求め、人の注意を喚起するよう表示を設けなければならない。

(測定器具類の整備)

第29条 電気工作物の保安上必要とする測定器具類は、電気主任技術者及び管理会社に意見を求めて常に整備し、これを適正に保管しなければならない。

(設計図等の整備)

第30条 電気工作物に関する設計図、仕様書、取扱い説明書等については必要な期間整備、保存するものとする。

(手続き書類等の整備)

第31条 関係官庁、電気事業者等に提出した書類及び図面その他主要文書については、その写しを必要な期間保存しなければならない。

付 則

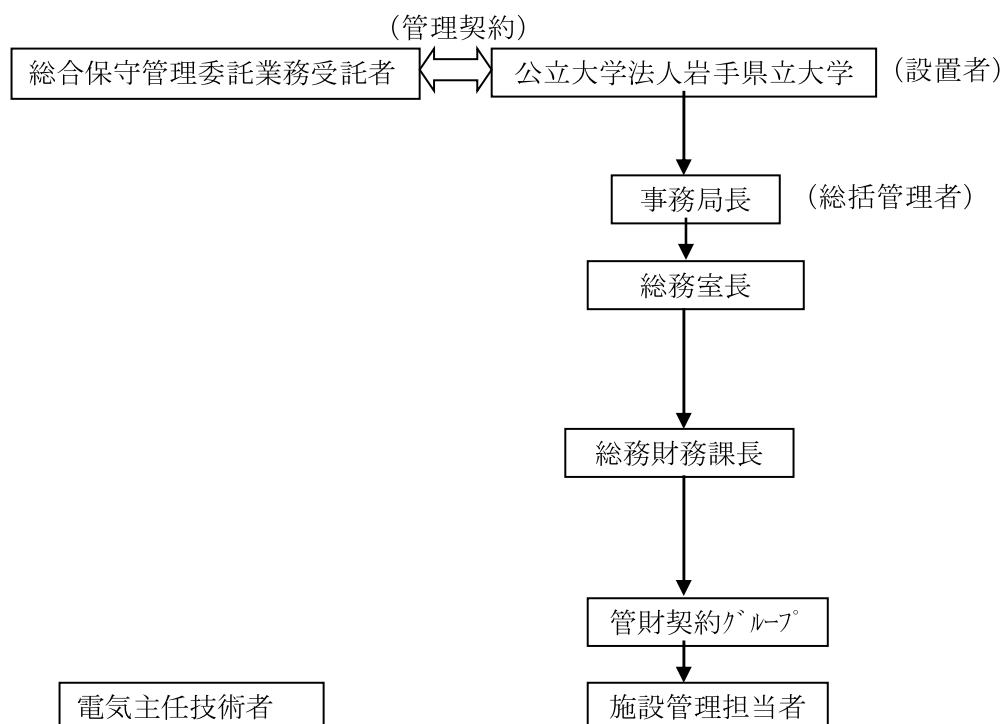
- 1 この規程は、平成10年4月1日から施行する。

改正付則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

別表第1

組織系統図及び指揮命令系統図



(別 紙 1)

保安規程により記録を整備するものは次のとおりとする。

1. 巡視記録簿

巡視対象工作物ごとに、巡視の種類、実施年月日、巡視結果、巡視結果にもとづき行った措置、巡視を行った者の氏名を記録する。

2. 点検測定記録簿

点検、測定種類、対象電気工作物、実施年月日、点検結果、測定結果、点検測定の結果にもとづいて行った措置、点検測定、実施代表者名を記録する。

3. 電気事故の記録簿

停電事故

停電発生日時、継続時間、停電区域、停電事由を記録する。

重大事故

電気関係報告規則にもとづく事故報告の速報、詳報の控え

機器損壊事故

事故発生日時、損壊機器名、復旧日時、復旧状況、原因を記録する。

4. 補修工事記録簿

整備の修繕工事、改良工事、増設工事、廃止工事につき、計画の概要、実施期日、工事施工者、受入試験結果等を記録する。

(別 紙 2)

主要電気機器設備台帳作成要領は次のとおりとする。

1. 対象機器

受電用の開閉器、遮断器、高圧変圧器、高圧コンデンサ

2. 記載事項

機器の定格

製造者名

製造年月日

製造番号

移動履歴

補修記録

別表第 3

巡視点検測定並びに手入基準

項目 対称		日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定						
		No.	周	期	点検箇所ねらい	No.	周	期	点検箇所ねらい	No.	周	期	点検箇所ねらい	No.	周	期	測定事項
受	断路器	1	1	月	受と刃の接触過熱、 変色	1	1	年	受と刃の接触過熱、 ゆるみ、荒れ具合					1	1	年	絶縁抵抗測定
		2	1	月	汚損、異物付着	2	1	年	フレ止め装置の 機能								
電	しゃ断器	1	1	月	外観点検、汚損、 きれつ、過熱、 発錆損傷	1	1	年	各部の損傷、腐食、 過熱、発錆、変形、 ゆるみ	1	3	年	しゃ断器測定 （開極投入時間最 小動作電圧及び電 流の測定を含む）	1	1	年	絶縁抵抗測定
		2	1	月	指示、点灯	2	1	年	操作具合、機構					2	1	年	接地抵抗測定
		3	1	月	その他の必要事項	3	1	年	付属装置の状態					3	不定期		必要により動作 特性
設	母線					1	1	年	母線の高さ、たるみ 他物との離隔距離、 腐食、損傷、過熱					1	1	年	絶縁抵抗測定
						2	1	年	接続部分、クランプ 類の腐食、損傷、 過熱、ゆるみ								
						3	1	年	がいし類、支持物の 腐食、損傷変形、 ゆるみ								
備	受電用変圧器	1	1	月	本体の外部点検 汚損、振動、音響、 温度	1	1	年	各部の損傷、腐食、 発錆、ゆるみ、汚損	1	5	年 ～ 10 年	内部について点検 （コイル、接続部 リード線、鉄心その 他各部）	1	1	年	絶縁抵抗測定
						2	1	年	接地 線接続部					2	1	年	接地抵抗測定
	計器用変成器	1	1	月	外部の損傷、腐食、 発錆、変形、汚損、 温度、音響、	1	1	年	各部の損傷、腐食、 接触、発錆、ゆるみ 変形、きれつ、汚損					1	1	年	絶縁抵抗測定
														2	1	年	接地抵抗測定

項目 対称		日常巡視点検手入				定期巡視点検手入				精密点検手入				測定			
		No.	周	期	点検箇所ねらい	No.	周	期	点検箇所ねらい	No.	周	期	点検箇所ねらい	No.	周	期	測定事項
受電設備					ヒューズの異常、 その他必要事項	2	1	年	ヒューズの異常 接地線接続部								
	避雷器	1	1	月	外部の損傷、きれつ ゆるみ、汚損	1	1	年	外部の損傷、きれつ ゆるみ、変形、汚損 接地線接続部					1 2	1 1	年 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定
配電設備 (屋外配線路を含む)	配電盤	1	1	月	計器の異常、表示灯 の異常、操作、 切替開閉器などの異 常、その他の必要事 項	1 2	1 1	年 年	裏面配線のじんあい、 汚損、損傷、過熱、 ゆるみ、断線 接地線接続部	1 2	2 2	年 年	各部の損傷、過熱、 ゆるみ、断線、接触、 脱落 端子配線符号	1 2 3 4	1 1 1 2	年 年 年 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 保護継電器の動作得 性、 計器校正、シーケン ス試験
	電力用 コンデンサー	1	1	月	本体外部点検、 漏油、汚損、音響、 振動	1	1	年	各部の損傷、腐食					1	1	年	絶縁抵抗測定
	蓄電池	1	1	月	端子のゆるみ、損傷 表示電池の電圧	1 2	1 1 1	年 年 年	がいしの腐食、損傷 床面の腐食損傷 充電装置の動作状況	1	3	年	充電装置の内部	1	1	月	各電池の電圧測定
	断路器 しゃ断器 開閉器				受変電設備と同じ												
	配電用変圧器				受変電設備と同じ												

項目		日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定		
対称		No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	測定事項
配 電 設 備	電線および 支持物	1	随 時	電線の高さ及び他の 工作物、樹木との 距離	1	1 年	電柱、がいし、支線				1	1 年	絶縁抵抗測定
		2	随 時	標識、保護さくの 状況	2	1 年	電線取付状況						
設 備	ケーブル	1	1 週間	ヘッド、接続部の過 熱、損傷、腐食	1	1 年	ケーブル腐食、 きれつ損傷				1	1 年	絶縁抵抗測定
		2	1 週間	布設部の無断掘さく									
		3	1 週間	標識、他物との距離									
負 荷	電動機 その他回転機	1	1 日	音響、回転、過熱、 異臭、給油状況など について注意する	1 2	3 月 1 年	音響、振動、温度、 各部の汚損、ゆるみ 損傷、伝達装置の 異常	1	3 年	温度上昇等を考慮し 内部分解点検、コイ ル、軸受、通風、付 属装置などの手入れ	1 2	1 年 1 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定
		2	1 週間	整流子、刷子									
設 備	照明設備	1	1 日	異音、汚損、不点	1	1 年	照明効果、汚損、損 傷、音響、温度、コ ンパウンドの油漏れ				1	1 年	絶縁抵抗測定
	配線	1	1 週間	開閉器の点検、湿気 塵埃等に注意	1	1 年	開閉器、器具の接続				1	1 年	絶縁抵抗測定

別表第 3

巡視点検測定並びに手入基準													
項目 対称		日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定		
		No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	測定事項
受	断路器	1	1 週間	受と刃の接触過熱、変色	1	1 年	受と刃の接触過熱、ゆるみ、荒れ具合				1	1 年	絶縁抵抗測定
		2	2 週間	汚損、異物付着	2	1 年	フレ止め装置の機能						
電	しゃ断器	1	1 週間	外観点検、汚損、きれつ、過熱、発錆損傷	1	1 年	各部の損傷、腐食、過熱、発錆、変形、ゆるみ	1	3 年	しゃ断器測定（開極投入時間最小動作電圧及び電流の測定を含む）	1 2 3	1 年 1 年 不定期	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 必要により動作特性
		2	1 週間	指示、点灯	2	1 年	操作具合、機構						
		3	1 週間	その他の必要事項	3 4	1 年 1 年	付属装置の状態 接地線接続部						
設	母線				1	1 年	母線の高さ、たるみ				1	1 年	絶縁抵抗測定
					2	1 年	他物との離隔距離、腐食、損傷、過熱						
					3	1 年	接続部分、クランプ類の腐食、損傷、過熱、ゆるみ						
備	がいし類、支持物の腐食、損傷変形、ゆるみ												
受	電用変圧器	1	1 週間	本体の外部点検 汚損、振動、音響、温度	1	1 年	各部の損傷、腐食、発錆、ゆるみ、汚損	1	5 年 ～ 10 年	内部について点検（コイル、接続部 リード線、鉄心その他各部）	1 2	1 年 1 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定
		2			2	1 年	接地線接続部						
計	器用変成器	1	1 週間	外部の損傷、腐食、発錆、変形、汚損、温度、音響、	1	1 年	各部の損傷、腐食、接触、発錆、ゆるみ				1 2	1 年 1 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定
							変形、きれつ、汚損						

項目 対称		日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定					
		No.	周	期	点検箇所ねらい		No.	周	期	点検箇所ねらい		No.	周	期	測定事項	
受電設備				ヒューズの異常、 その他必要事項	2	1	年	ヒューズの異常 接地線接続部								
	避雷器	1	1 週間	外部の損傷、きれつ ゆるみ、汚損	1	1	年	外部の損傷、きれつ ゆるみ、変形、汚損 接地線接続部					1 2	1 1	年 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定
配電設備 (屋外配線路を含む)	配電盤	1	1 週間	計器の異常、表示灯 の異常、操作、 切替開閉器などの異 常、その他の必要事 項	1 2	1 1	年 年	裏面配線のじんあい、 汚損、損傷、過熱、 ゆるみ、断線 接地線接続部	1 2	2 2	年 年	各部の損傷、過熱、 ゆるみ、断線、接触、 脱落 端子配線符号	1 2 3 4	1 1 1 2	年 年 年 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 保護継電器の動作得 性、 計器校正、シーケン ス試験
	電力用 コンデンサー	1	1 週間	本体外部点検、 漏油、汚損、音響、 振動	1	1	年	各部の損傷、腐食					1	1	年	絶縁抵抗測定
	蓄電池	1	1 月	端子のゆるみ、損傷 表示電池の電圧	1 2	1 1 1	年 年 年	がいしの腐食、損傷 床面の腐食損傷 充電装置の動作状況	1	3	年	充電装置の内部	1	1	月	各電池の電圧測定
	断路器 しゃ断器 開閉器			受変電設備と同じ												
	配電用変圧器			受変電設備と同じ												

項目		日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定		
対称		No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	測定事項
配 電 設 備	電線および 支持物	1	1 週間	電線の高さ及び他の 工作物、樹木との 距離	1	1 年	電柱、がいし、支線				1	1 年	絶縁抵抗測定
		2	1 週間	標識、保護さくの 状況	2	1 年	電線取付状況						
	ケーブル	1	1 週間	ヘッド、接続部の過 熱、損傷、腐食	1	1 年	ケーブル腐食、 きれつ損傷				1	1 年	絶縁抵抗測定
		2	1 週間	布設部の無断掘さく									
		3	1 週間	標識、他物との距離									
	電動機 その他回転機	1	1 日	音響、回転、過熱、 異臭、給油状況など について注意する	1 2	3 月 1 年	音響、振動、温度、 各部の汚損、ゆるみ 損傷、伝達装置の 異常	1	3 年	温度上昇等を考慮し 内部分解点検、コイ ル、軸受、通風、付 属装置などの手入れ	1 2	1 年 1 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定
		2	1 週間	整流子、刷子									
設 備	照明設備	1	1 日	異音、汚損、不点	1	1 年	照明効果、汚損、損 傷、音響、温度、コ ンパウンドの油漏れ				1	1 年	絶縁抵抗測定
	配線	1	1 週間	開閉器の点検、湿気 塵埃等に注意	1	1 年	開閉器、器具の接続				1	1 年	絶縁抵抗測定

区分	項 目 対 称	日常巡視点検手入			定期巡視点検手入			精密点検手入			測定		
		No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	点検箇所ねらい	No.	周 期	測定事項
発 電 所	電動機関係	1	1 日	給油、回転、圧力、 温度、漏れ、振動、 音響確認	1	1 年	機関主要部分の分解	1	3 年	内燃機関の分解	1	6 月	ばい煙量測定
		2	3 時間	音響記録の作成 (イ)潤滑油、圧力 温度 (ロ)冷却水温度 (ハ)排気ガス温度									
	発電機関係	1	1 日	音響、振動、加熱、 異臭、給油 各部の汚損、ゆるみ 損傷、伝達装置の異常				1	1 年	グリース注入及び内 部分解点検 掃除、コイル軸受 通風等	1 2 3 4	1 1 1 2 年	絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 継電器試験 計器校正、シーケンス試験
	断路器 しゃ断器 開閉器類 変圧器 計器用変成器			受電設備と同じ			受電設備と同じ			受電設備と同じ			受電設備と同じ

別表第2

自家用電気工作物に関する保安業務の分掌

事務局長	電気主任技術者
<p>事務局長は理事長の指揮を受け、電気主任技術者を指揮命令し、次の機能を遂行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決定事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度計画に関すること ・ 重大事故に関すること ・ 防災計画に関すること ・ 基準の設定 ・ 教育に関すること ・ 工事施行及び検収に関すること 2. 立案事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画に関すること 3. 報告を受けるべき事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種業務内容 4. 連絡調整を図る事項 	<p>電気主任技術者は事務局長の指揮を受け、係員を指揮命令し、次の機能を遂行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決定事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保全作業の運用 ・ 運転作業の運用 ・ 軽易な事故処理 ・ 事務の総括に関すること ・ 防災対策に関すること ・ 教育に関すること ・ 工事に関すること ・ 電気、機械工作物の保守及び保守委託事務に関すること 2. 立案事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画、基準の年度計画の策定に関すること ・ 用度品の整備に関すること 3. 報告を受けるべき事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 係員の日常業務で指揮した事項 ・ 運転、保全の状況 4. 連絡調整を図る事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事計画に当たって関係部所の業務関係